

平成 20 年 度 通 常 総 会
お よ び
第 5 回 時 局 講 演 会

平成 20 年 3 月 18 日(火)

朝日生命大手町ビル 17 階

特定非営利活動法人
全国木材資源リサイクル協会連合会

特定非営利活動法人全国木材資源リサイクル協会連合会

平成20年度通常総会日程

平成20年3月18日
朝日生命大手町ビル

第1部 平成20年度通常総会 13:00～14:30

議 事

議事録署名人選出

第1号議案 平成19年度事業報告について

第2号議案 平成19年度事業収支決算について

第3号議案 平成20年度事業計画(案)について

第4号議案 平成20年度事業収支予算(案)について

第5号議案 NPO法人設立5周年記念式典の開催(案)について

第6号議案 そ の 他

第2部 第5回時局講演会

第1講演

15:00～15:55

「リサイクル産業の今後の展望について」

経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課

課長 安藤 晴彦 氏

第2講演

16:00～16:55

「リサイクル産業における林地残材活用の可能性について」

独立行政法人 森林総合研究所

林業工学研究領域

チーム長 陣川 雅樹 氏

第3部 懇親会

17:30～19:00

第1部

特定非営利活動法人 全国木材資源リサイクル協会連合会

平成 20 年度通常総会

13 : 00～14 : 30

式 次 第

1. 開会の辞 片 岡 重 治 副理事長
(NPO 法人中四国木材資源リサイクル協会代表理事)
2. 挨拶 彦 坂 武 功 理事長
(関東木材資源リサイクル協会会長)
3. 議長選出
4. 議 事
議事録署名人選出
第 1 号議案 平成 19 年度事業報告について
第 2 号議案 平成 19 年度事業収支決算について
第 3 号議案 平成 20 年度事業計画(案)について
第 4 号議案 平成 20 年度事業収支予算(案)について
第 5 号議案 NPO 法人設立 5 周年記念式典の開催(案)について
第 6 号議案 そ の 他
5. 閉会の辞 荒 川 洋 二 理事
(NPO 法人北日本木材資源リサイクル協会副代表理事)

第1号議案 平成19年度事業報告について

平成19年度事業報告

自 平成19年 1月 1日

至 平成19年12月31日

平成19年度は、全国各地で新たな大型バイオマス発電施設が稼働したことによって、木質チップの燃料需用が大幅に拡大し、紙やボードなどの原料利用に大きな影響を与えた。

また、6月の改正建築基準法施行によって建物の新增築工事が著しく遅延し、この影響で年度後半の建設発生木材の排出量は、前年と比較して大幅な減少となり木質チップの需給に大きな混乱を生じさせた。

更に、この燃料需用の増大に伴って全国各地に小規模の無許可チップ業者が多数出現し廃木材の確保が極めて困難となる一方で、一部のユーザーが自己防衛として自社にチップ工場を併設するなど業界にとっては激動の年となった。

連合会では、このような状況に対処するため、総会及び3回の理事会のほか毎月定期的に調査・広報委員会を開催し、木質チップ等の取引情報を収集するとともに各種事業の推進方策等を検討しながら取り組んできた。

しかし、改正建築基準法による影響がこれほど大きくなるとは予期できなかったため、年度後半の物流の混乱を避けることができなかったが、本年度の事業計画は別紙のとおり概ね達成できた。

このうち、本年度から新たに実施した事業は、次のとおりである。

- ① 情報伝達手段の一つとして、ホームページに「全国木材資源利用マップ」を掲載したほか、会報を創刊し配布した。
- ② 実態調査の対象を昨年の会員及びサーマル・ユーザーのほか、マテリアルユーザー・流通業・住宅産業の3部門を加え生産・流通・販売の実態を把握した。

また、未利用資源対策や品質規格設定についても必要な検討を行った。

- ③ 研修・イベント関係では、講習会・シンポジウム・各種懇談会のほか、優良事例（中間処理施設および間伐施業）の視察研修会を開催した。
- ④ その他、会員協会及び関係業界との連携強化、各種委員会への参画並びに国への要望等を行うほか、初めてバイオマス展に出展するなど各種の広報媒体を通じて積極的に連合会活動を啓発した。

以上、近年のバイオマス燃料の需用増は、木質チップのマテリアル利用に大きな影響を及ぼしているが、我々の業界も燃料チップの需用増と多数の小規模チップ業者の台頭などによって、廃木材の入手が極めて困難となり処理料金も下落傾向にあり混迷している。

この状況を早期に回避し業界の健全な発展に資するには、林地残材等の未利用資源への新たな取り組みと連合会組織の更なる拡充が不可欠となっている。

平成19年度「連合会の主な活動状況」

| |
|--|
| 1. 情報の収集・伝達に関する事業 |
| ① ホームページ等通信手段活用事業 ホームページを活用して、本年度実施した各種の調査結果及び研修・イベント内容並びに国への要望事項等を照会するとともに入手した有益な情報を適時に掲載した。 また、新規事業として、会員およびユーザーの所在地をブロック別に検索できる「全国木材資源利用マップ」を作成し掲載した。 (10月・HP) |
| ② 機関誌等発行配布事業 会報及び啓発用チラシを作成し、会員及び関係者に配布した。 (7月・各500部) |
| 2. 調査・研究・開発に関する事業 |
| ① 木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会の開催 (毎月) 連合会活動に必要な調査及び広報に関する手法等を検討し各種事業を推進した。 |
| ② 木材資源の需給実態調査事業 木材資源のリサイクル推進に必要な資材確保から製品供給に至る木質チップ等の生産・流通・販買等の実態を把握するため、マテリアルユーザー・サーマルユーザー・流通業・住宅産業及び生産会員を対象に一斉調査を実施し、各業界の需給量・取引価格などこれまでにない有益な情報を得た。 (8月・HP) |
| ③ 未利用木材資源調査事業 林地残材等の確保対策に資するため、黒字経営の優良間伐施業組合をモデルに産学官の有識者(14名)で構成するプロジェクトチームを組織し、実践に必要な費用を全額補助のあるNEDO助成事業へ申請したが採択には至らなかった。 (7月) このため、各種講演会・研修会等に積極的に参加し国内外の知見を収積中である。 |
| ④ 木質チップ等品質規格設定調査事業 木質チップの品質が業界への信頼と取引価格に反映できるよう調査委員会で再三連合会独自の品質規格(案)を検討したが、結論を得ず次年度に持ち越した。 |
| 3. 研修・イベント開催に関する事業 |
| ① 第4回時局講演会の開催 定期総会に合わせて、「産業廃棄物に係る最近の動向について」と題し環境省産業廃棄物課課長補佐築地原康志氏に、また、「廃棄物資源化産業の展望について」と題し(株)エックス都市研究所取締役特別顧問青山俊介氏にご講演を頂いた。 (3月HP) |
| ② 第2回シンポジュームの開催 NPO法人北日本木材資源リサイクル協会と共催で、「進めよう木材リサイクル!止めよう温暖化!」と題して、東北大学教授の吉岡敏明氏をコーディネータに5人のパネリストによる東北木材資源リサイクルシンポジウム2007を仙台市の夢メッセみやぎ大ホールで開催した。 (10月) |

③ 第2回ユーザー懇談会の開催

第1回の懇談会と同様にマテリアル部会とサーマル部会に区分し、各ユーザー代表と連合会役員とが業界の実情等について意見交換した。

今年は、発電燃料の需要拡大に加え建築基準法の改正及び原油高騰の影響を受け、両部会とも木質資源の確保対策が中心課題となった。 (11月・HP)

④ モデル工場等見学研修会の開催

第1回国内視察研修会として、「最新の木くず等選別・破砕処理施設および間伐施業のモデル森林」を視察するため、(株)京都環境保全公社と京都府南丹市の日吉町森林組合を訪問(参加者18名)し先進事例を研修した。 (11月)

4. 協調・合意・連携に関する事業

① 会員協会及び賛助会員との協調・合意・連携の強化

連合会と各協会との連携強化のため、必要に応じて各協会の総会・理事会・例会等に参加し事業推進への合意形成を図るとともに毎月の連合会通信等を通じて会員協会の活動を周知した。

また、賛助会員との懇談会を開催し連合会活動の協力を求めた。 (12月)

② 関係機関との協調・合意・連携の強化

木材資源のリサイクル推進に係る国や自治体施策に積極的に協力するとともに、都道府県産業廃棄物協会をはじめ(財)先端建設技術センター等関係団体の事業活動に参画するほか、建設副産物リサイクル広報推進会議等の各種委員会委員に就任し業界の安定と発展に努めた。

③ 連合会運営事業の推進

各種の連合会活動を的確に運営するため、定期的に協会長会議・理事会・総会等を開催し計画的に各種事業を推進した。 (2・3・7・11月)

5. 要望・陳情・懇談に関する事業

① 国及び関係業界等に対する要望・陳情・懇談

木材資源のリサイクル推進に係る制度改善及び課題解消に必要な5項目について、関係する4省大臣(環境省・国土交通省・経済産業省・農林水産省)に要望するとともに、関係業界には懇談会等を通じて協力を要請した。 (11・12月・HP)

6. 啓蒙・啓発に関する事業

① 新聞・テレビ等広報媒体の活用

連合会が実施した調査結果及びイベント情報等を新聞・テレビ等の広報媒体を通じて積極的に啓発した。

② 第1回バイオマス総合展への参加

木材資源リサイクルに取り組む業界の実態を広く啓発するため、第1回バイオマス総合展に出展した。 (10月)

(注) HPはホームページの略で、結果等の記事を掲載したことを示す。

第2号議案 平成19年度事業収支決算について

平成19年度特定非営利活動に係る事業会計収支決算

平成19年1月1日から平成19年12月31日まで

特定非営利活動法人 全国木材資源リサイクル協会連合会

| 科 目 | 金 額 (単位:円) | | |
|---------------------|------------|-----------|-----------|
| | 当初予算 | 補正予算 | 決算額 |
| I 収入の部 | | | |
| 1 会費・入金収入 | 4,420,000 | 2,660,000 | 2,660,000 |
| 入金収入(2協会) | 400,000 | 0 | 0 |
| (賛助会員6社) | 300,000 | 100,000 | 100,000 |
| 会費収入 | | | |
| 正会員(6協会) | 3,000,000 | 2,000,000 | 2,000,000 |
| 賛助会員 | 720,000 | 560,000 | 560,000 |
| 2 事業収入 | 0 | 0 | 0 |
| 3 補助金等収入 | 0 | 0 | 0 |
| 4 その他収入 | 1,500,000 | 1,500,000 | 1,501,367 |
| 5 前期繰越 | 606,786 | 606,786 | 606,786 |
| 6 特別収入 | 0 | 100,000 | 100,000 |
| 当期収入合計 | 6,526,786 | 4,866,786 | 4,868,153 |
| II 支出の部 | | | |
| 1 事業費 | 6,001,429 | 4,341,429 | 3,416,937 |
| 1)情報の収集・伝達に関する事業 | 800,000 | 800,000 | 604,807 |
| 2)調査・研究・開発に関する事業 | 700,000 | 500,000 | 394,364 |
| 3)研修・イベント開催に関する事業 | 700,000 | 480,000 | 298,149 |
| 4)協調・合意・連携に関する事業 | 800,000 | 280,000 | 169,430 |
| 5)要望・陳情・懇談に関する事業 | 100,000 | 100,000 | 35,180 |
| 6)啓蒙・啓発に関する事業 | 800,000 | 80,000 | 100,347 |
| 小計 | 3,900,000 | 2,240,000 | 1,602,277 |
| 7)各事業推進事務費(運営費の80%) | 2,101,429 | 2,101,429 | 1,814,660 |
| 2 管理費 | | | |
| 一般管理費(運営費の20%) | 525,357 | 525,357 | 453,665 |
| (運営費内訳) | | | |
| 事務局人件費 1,300,000円 | 1,300,000 | | |
| 備品費 | 70,000 | | |
| 諸会費 | 250,000 | | |
| 消耗品費 | 150,000 | | |
| 通信運搬費 | 240,000 | | |
| 旅費交通費 | 84,000 | | |
| 法定福利費 | 100,000 | | |
| 預り金 | 20,000 | | |
| 広告宣伝費 | 263,000 | | |
| 手数料 | 3,000 | | |
| 雑費 | 146,786 | | |
| 計 | 2,626,786 | | |
| 当期支出合計 | 6,526,786 | 4,866,786 | 3,870,602 |
| 当期収支差額 | 0 | 0 | 997,551 |
| 前期繰越収支差額 | 0 | 0 | 0 |
| 次期繰越収支差額 | 0 | 0 | 997,551 |

I 収入の部

| | | |
|-------|--------------|-----------|
| 会費 | 正会員(4協会) | 2,000,000 |
| | 賛助会員(8社) | 560,000 |
| 入会金 | 賛助会員2社 | 100,000 |
| その他収入 | | 1,501,367 |
| 特別収入 | 中四国H18シンポ共催分 | 100,000 |
| 前期繰越 | | 606,786 |
| 合計 | | 4,868,153 |

II 支出の部

事業費内訳

| 事業区分 | 当初予算 | 補正予算 | 決算 | 備考 |
|--------------------------|------------------|------------------|------------------|-------|
| 1 情報の収集・伝達に関する事業 | 800,000 | 800,000 | 604,807 | |
| ①ホームページ等通信手段活用事業 | | | | 管理費⑦へ |
| ②機関誌等発行配布事業 | 200,000 | | 54,285 | |
| ③関係機関の情報収集事業 | | | | 管理費内 |
| ④全国木材資源利用マップ作成事業 | 100,000 | | | 1-①内 |
| ⑤連合会運営事業 | 500,000 | | 550,522 | |
| 2 調査・研究・開発に関する事業 | 700,000 | 500,000 | 394,364 | |
| ①調査及び広報活動推進委員会の開催 | 150,000 | | 92,711 | |
| ②木材資源の需給実態調査事業 | 150,000 | | 54,960 | |
| ③未利用木材資源調査事業 | 100,000 | | 216,693 | |
| ④木質チップ等品質規格設定調査事業 | 100,000 | | | 2-①内 |
| ⑤木質チップ等生産会員実態調査事業 | 100,000 | | 30000 | |
| ⑥三宅島枯損木活用推進調査事業 | 100,000 | | 0 | |
| 3 研修・イベント開催に関する事業 | 700,000 | 480,000 | 298,149 | |
| ①時局講演会の開催 | 100,000 | | 35,750 | |
| ②シンポジュームの開催 | 400,000 | | 21,180 | |
| ③ユーザー懇談会の開催 | 100,000 | | 9,725 | |
| ④モデル工場等見学研修会の開催 | 100,000 | | 231,494 | |
| ⑤全国大会の開催 | | | | |
| 4 協調・合意・連携に関する事業 | 800,000 | 280,000 | 169,430 | |
| ①会員協会との協調・合意・連携の強化 | 300,000 | | 109,430 | |
| ②連合会賛助会員との協同事業等の実施 | 300,000 | | 60,000 | |
| ③国・自治体施策への協力 | 200,000 | | 0 | 管理費内 |
| ④関係業界団体との連携強化 | | | | 管理費②へ |
| ⑤各種委員会及び協議会等への積極的参加 | | | | 管理費内 |
| 5 要望・陳情・懇談に関する事業 | 100,000 | 100,000 | 35,180 | |
| ①国及び関係業界等に対する要望・陳情 | 100,000 | | 35,150 | |
| 6 啓蒙・啓発に関する事業 | 800,000 | 80,000 | 100,347 | |
| ①新聞・テレビ等広報媒体の活用 | 100,000 | | 0 | 管理費内 |
| ②環境展等への参加 | 700,000 | | 100,347 | |
| 計 | 3,900,000 | 2,240,000 | 1,602,277 | |

管理費内訳

| 科目 | 当初予算 | 補正予算 | 決算 | 備考 |
|---------|-----------|-----------|-----------|------|
| ① 人件費 | 1,300,000 | 1,300,000 | 1,290,080 | |
| ② 諸会費 | 250,000 | 250,000 | 250,000 | 4-④分 |
| ③ 消耗品費 | 150,000 | 150,000 | 67,464 | |
| ④ 通信運搬費 | 240,000 | 240,000 | 225,754 | |
| ⑤ 旅費交通費 | 84,000 | 84,000 | 97,620 | |
| ⑥ 租税公課等 | 120,000 | 120,000 | 75,817 | |
| ⑦ 広告宣伝費 | 263,000 | 263,000 | 202,650 | 1-①分 |
| ⑧ 手数料 | 3,000 | 3,000 | 3,255 | |
| ⑨ 備品費 | 70,000 | 70,000 | 0 | |
| ⑩ 雑費 | 146,786 | 146,786 | 55,685 | |
| 計 | 2,626,786 | 2,626,786 | 2,268,325 | |

平成19年度 事業会計支出内訳

(単位：円)

| 支出分 | | 摘要 | 未払い支出分 | | 合計 |
|-----------|-----------|----------------------|---------|---------|-----------|
| 科目小計 | 内訳 | | 科目小計 | 内訳 | |
| 1,186,680 | | 人件費 | 103,400 | | 1,290,080 |
| | 1,186,680 | 事務員 | | 103,400 | |
| 0 | | 備品費 | | | 0 |
| 1,591,317 | | 運営負担費 | 10,960 | | 1,602,277 |
| | 75,785 | 協会長会議 1/29 | | | |
| | 146,409 | 総会 3/22 | | | |
| | 206,112 | 理事会 2/19 .7/25.11/19 | | | |
| | 92,711 | 広報推進委員会 9回 | | | |
| | 216,693 | 未利用木材関係 | | | |
| | 100,347 | バイオマス総合展 10/24~26 | | | |
| | 231,494 | 見学研修会 11/26 | | | |
| | 128,285 | 調査各種・会報 | | 10,960 | |
| | 122,216 | 書籍等購入 | | | |
| | 35,750 | 講演会 3/22 | | | |
| | 60,000 | 賛助会員懇談会 11/19 | | | |
| | 175,515 | その他（ユーザー懇談会など） | | | |
| 67,464 | | 消耗品費 | | | 67,464 |
| | 57,489 | 事務用品代 | | | |
| | 9,975 | 名刺代 | | | |
| 225,754 | | 通信運搬費 | | | 225,754 |
| | 184,289 | 電話代・通信費 | | | |
| | 27,880 | 切手・はがき代 | | | |
| | 13,585 | 発送費 | | | |
| 96,320 | | 旅費交通費 | 1,300 | | 97,620 |
| | 59,920 | 通勤代 | | 1,300 | |
| | 9,960 | タクシー代 | | | |
| | 25,000 | スイカチャージ・メトロ | | | |
| | 1,440 | 交通費 | | | |
| 75,817 | | 租税公課等 | | | 75,817 |
| | 75,817 | 労働保険料 | | | |
| 2,835 | | 手数料 | 420 | | 3,255 |
| | 2,835 | 振込手数料 | | 420 | |
| 55,685 | | 雑費 | | | 55,685 |
| | 36,294 | パソコン修理他 | | | |
| | 19,391 | お茶代等 | | | |
| 250,000 | | 諸会費 | | | 250,000 |
| | 250,000 | 先端建設技術センター | | | |
| | | 広告宣伝費 | 202,650 | | 202,650 |
| | | ホームページ管理 | | 202,650 | |
| 3,551,872 | 3,551,872 | 合計 | 318,730 | 318,730 | 3,870,602 |

平成19年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成19年1月1日から平成19年12月31日まで

特定非営利活動法人 全国木材資源リサイクル協会連合会

平成19年12月31日現在

| 科 目 | 金 額 (単位：円) | | |
|------------|------------|-----------|-----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 816,281 | | |
| 未収入金 | | | |
| 会費・寄付金 | 500,000 | | |
| 仮払金 | 0 | | |
| 流動資産合計 | | 1,316,281 | |
| 2 固定資産 | 0 | | |
| 固定資産合計 | | | 0 |
| 資産合計 | | | 1,316,281 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | | | |
| 人件費 | 103,400 | | |
| 通信運搬費 | 10,960 | | |
| 旅費交通費 | 1,300 | | |
| 支払手数料 | 420 | | |
| 広告宣伝費 | 202,650 | | |
| 流動負債合計 | | 318,730 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 借入金 | 0 | | |
| 固定負債合計 | | | 0 |
| 負債合計 | | | 318,730 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 正味財産合計 | | | 997,551 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 1,316,281 |

平成19年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成19年1月1日から平成19年12月31日まで
 特定非営利活動法人 全国木材資源リサイクル協会連合会

平成19年12月31日現在

| 科 目 | 金 額 | | (単位：円) |
|-----------------|---------|-----------|-----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金預金 | | | |
| 普通預金（みずほ銀行平井支店） | 793,106 | | |
| 現 金 | 23,175 | | |
| 未収会費 | 500,000 | | |
| 仮払金 | 0 | | |
| 流動資産合計 | | 1,316,281 | |
| 2 固定資産 | 0 | | |
| 固定資産合計 | | | 0 |
| 資産合計 | | | 1,316,281 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | | | |
| 人件費 | 103,400 | | |
| 通信運搬費 | 10,960 | | |
| 旅費交通費 | 1,300 | | |
| 支払手数料 | 420 | | |
| 広告宣伝費 | 202,650 | | |
| 流動負債合計 | | 318,730 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 借入金 | 0 | | |
| 固定負債合計 | | | 0 |
| 負債合計 | | | 318,730 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 正味財産合計 | | | 997,551 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 1,316,281 |


特定非営利活動法人
全国木材資源リサイクル協会連合会

監査報告書

平成19年度事業報告及び収支決算の諸事項について監査
したところ、その内容はいずれも適正なものと認めました。

平成20年 2月 8日

監事 矢野 明 

監事 田中一馬 

第3号議案 平成20年度事業計画（案）について

平成20年度事業計画（案）

自 平成20年 1月 1日

至 平成20年12月31日

今年は、7月に世界G8首脳による北海道洞爺湖サミットが開催される。すでに主要テーマは、地球温暖化対策と云われており議論の行方に世界中が注目している。

日本は、京都議定書（COP3で議決、1997.12）で1990年のCO2排出量の6%を2008～2012年までに削減することを求められているが、現状では、逆に8%増加していると云われており目標達成が極めて困難な状況にある。

しかも、去年のドイツサミットでは、我が国が率先して2050年までに世界のCO2排出量を半減させようと提案している。

これらの目標を達成するためには、今後、国内外での排出権取引や植林等による吸収源活動が活発になると予想されるが、何よりも国内で大量消費されている化石燃料の大幅削減が必要となり、その一環としてのバイオマス燃料への転換が益々求められ、カーボンニュートラルの木質資源の活用がより一層進展するものと考えられる。

連合会としては、昨今の木質チップを取り巻く需給の混乱と経営の不安定さを早期に克服し、これら時代の要請に応えられるように廃材の100%活用はもとより、林地残材等未利用資源の活用に全力投球ができる環境づくりが重要で、我々業界が総力を挙げてCO2削減に向けた大きな役割を果たせるよう取り組んでいく必要がある。

折しも今年は、連合会がNPO法人発足5年目を迎えたことから、この節目の年に改めて業界の安定と発展を目指して次の活動目標を掲げ、この目標達成に向けて別紙のとおり各種事業を推進することとする。

—平成20年度の活動目標—

1. 全国組織の拡充を図るため、近畿協会及び九州協会の早期加入を推進するとともに、会員不在の都道府県の解消に努める。
2. 連合会活動の充実を図るため、需給対策に関する必要な委員会等を設置し、資材の安定確保や適正な供給体制の確立に資する。
3. 地球温暖化防止対策に向けた連合会会員の貢献度をCO2換算で定量化するとともに、グリーン購入特定調達品の共同購買などを推進する。
4. 連合会の役割を一層強化するため、国及び自治体の施策に積極的に協力するとともに、関係機関・関係業界との連携を深める。
5. NPO法人発足5周年記念行事を成功させ、連合会活動に対する関係者の一層の理解と協力を得る。

平成20年度事業計画（案）

| |
|---|
| 1. 情報の収集・伝達に関する事業 |
| <p>① ホームページ等通信手段活用事業 ホームページを改良するとともに各協会事務局及び末端会員を対象に、メール通信手段を活用した情報提供の充実及び迅速化並びに効率化を図る。</p> <p>② 機関誌等発行配布事業 会報及びパンフレット・チラシ等を作成し、会員及び関係者に広く配布する。</p> <p>③ 関係機関の情報収集事業 国・自治体及び関係機関の情報を定期的にホームページ及び機関誌並びに訪問等により収集し①及び②を通じて会員等に伝達する。</p> <p>④ 全国木材資源利用マップ更新事業 ブロック別マップに会員及びユーザー等の立地状況をホームページに公開する。</p> |
| 2. 調査・研究・開発に関する事業 |
| <p>① 木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会の開催（毎月） 連合会活動に必要な調査及び広報に関する手法等を検討し各種の事業推進に資する。</p> <p>② 木材資源の需給実態調査事業 木材資源のリサイクル推進に必要な資材確保から製品供給に至る木質チップ等の生産・流通・販売に係る市場実態を定期的に調査し適切な情報を会員に伝達する。併せて、廃木材処理費等を地域別に把握し、全国の実態を公表することによって価格の安定に資する。</p> <p>③ 未利用木材資源調査事業 原料および燃料用の木質チップ資材を確保するため、国・自治体施策に協力するとともに関係団体と連携し、林地残材等の未利用資源確保対策調査を実施する。</p> <p>④ 木質チップ等品質規格設定調査事業 木質チップ等の規格品が取引価格に反映できるよう公認規格の設定調査を実施し国等関係機関に提案する。</p> <p>⑤ 木質チップ等生産会員実態調査事業 連合会を構成する各協会会員を対象に木質チップ等の生産能力・毎月の入出荷量・処理費及び販売価格等の実態を把握し連合会活動の基礎データとする。併せて、優良事例についての照会・報告や研修・視察を実施する。</p> |
| 3. 研修・イベント開催に関する事業 |
| <p>① 第5回時局講演会の開催 3月の定期総会に合わせて、経済産業省及び（独）森林総合研究所から講師を迎え時局講演会を開催する。</p> <p>② 第3回シンポジュームの開催</p> |

業界の安定と発展に資するため、東海地域で協会の協力を得て木質チップ等の生産・流通・販売に係る基調講演及びパネリスト等による公開討論会を開催する。

③ 第3回ユーザー懇談会の開催

マテリアル及びサーマル業界代表者並びに国の担当者を交え、木質チップ等の需給問題について意見交換し、当面の課題の解消と取引の改善に資する。

④ 第2回視察研修会の開催

木質チップ等の生産・販売に係る国内外の優良事例等の視察研修会を開催する。

⑤ 5周年記念式典の開催

NPO 法人発足5周年記念行事として、関係者の一層の理解と協力を得るため記念式典(第2回全国大会)を開催する。

4. 協調・合意・連携に関する事業

① 会員協会との協調・合意・連携の強化

各協会の事業活動に協調するとともに業界発展のために連携を強化する。

また、必要に応じて各協会の総会・理事会・例会等に参加し合意形成に努める。

② 第3回賛助会員懇談会の開催

賛助会員との連携を強化し、連合会事業の理解と協力を要請する。

③ 国・自治体施策への協力

木材資源リサイクル推進に係る公的事業に対し要請があれば積極的に協力する。

④ 関係業界団体との連携強化

木質チップ等の需給対策を強化するため、関係する業界団体と定期的な会議を開催し、資材の安定確保と適正な供給体制の確立に努める。

⑤ 各種委員会及び協議会等への積極的参加

国及び自治体並びに会員加入している建設副産物リサイクル広報推進会議（事務局：(財)先端建設技術センター）等の各種委員会に積極的に参画し、木材資源のリサイクル推進に係る必要な検討を行う。

⑥ 連合会運営事業

各種の連合会活動を的確に運営するため、定期的に協会長会議・理事会・総会及び事務局会議等を開催し、関係情報を基に適切に各種事業を推進する。

5. 要望・陳情・懇談に関する事業

① 国及び関係業界等に対する要望・陳情・懇談

木材資源のリサイクル推進に係る制度改善及び課題解消に必要な事項について定期的に国及び関係機関に要望・陳情するとともに懇談等により理解と協力を求める。

また、これら要望・陳情事項を具現化するために関係者の協力を得て必要な事業を実施する。

6. 啓蒙・啓発に関する事業

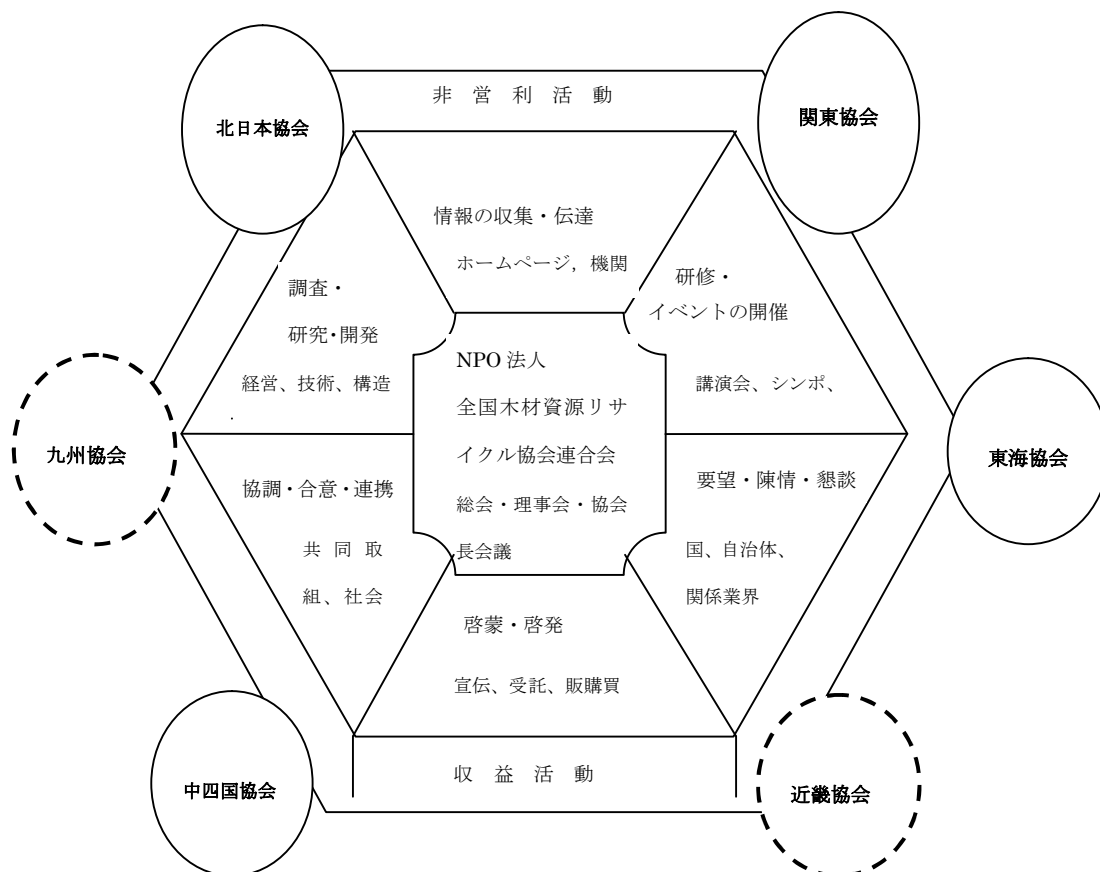
① 新聞・テレビ等広報媒体の活用

連合会が実施した調査結果及びイベント情報等を新聞・テレビ等の広報媒体を通じて積極的に啓発するとともに必要に応じてスポンサー付でこれら広報媒体に広告をする。

併せて、これら連合会活動の啓蒙・啓発によって組織の拡充に資する。

② 第3回環境展等への参加

北海道洞爺湖サミットに合わせて開催される神戸（5月）及び札幌(6月)での環境展に建設副産物リサイクル広報推進会議の一員として参加するとともに、10月のバイオマス総合展に出展し、木材資源リサイクル事業の取り組みについて啓蒙・啓発を行う。また、必要なパンフレット・チラシ等を作成し配布する。



連合会活動の基本構造

第4号議案 平成20年度事業収支予算（案）について

平成20年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算（案）

平成20年1月1日から平成19年12月31日まで

特定非営利活動法人 全国木材資源リサイクル協会連合会

(単位：円)

| 科 | 目 | 金額 | 備考 |
|----|---------------------|-----------|-------------------------|
| I | 収入の部 | | |
| 1 | 会費・入会金収入 | 3,750,000 | |
| | 入会金収入(賛助会員2社) | 100,000 | 50,000円X2社=100,000円 |
| | 会費収入 | | |
| | 正会員(6協会) | 3,000,000 | 500,000円X6協会=3,000,000円 |
| | 賛助会員 | 650,000 | 既会員8社、新規会員2社 |
| 2 | 事業収入 | 0 | |
| 3 | 補助金等収入 | 0 | |
| 4 | その他収入 | 1,500,000 | |
| 5 | 前期繰越 | 997,551 | |
| 6 | その他の事業会計からの繰入 | 0 | |
| | 当期収入合計 | 6,247,551 | |
| II | 支出の部 | | |
| 1 | 事業費 | 5,731,041 | |
| | 1)情報の収集・伝達に関する事業 | 465,000 | } 別紙参照 |
| | 2)調査・研究・開発に関する事業 | 570,000 | |
| | 3)研修・イベント開催に関する事業 | 900,000 | |
| | 4)協調・合意・連携に関する事業 | 1,300,000 | |
| | 5)要望・陳情・懇談に関する事業 | 50,000 | |
| | 6)啓蒙・啓発に関する事業 | 380,000 | |
| | 小計 | 3,665,000 | |
| | 7)各事業推進事務費(運営費の80%) | 2,066,041 | |
| 2 | 管理費 | | |
| | 一般管理費(運営費の20%) | 516,510 | |
| | (運営費内訳) | | |
| | 事務局人件費 1,300,000円 | 1,750,000 | 事務局長(45)・事務員(130) |
| | 備品費 | 50,000 | ボイスレコーダー他 |
| | 消耗品費 | 150,000 | コピー用紙他事務用品 |
| | 通信運搬費 | 250,000 | 電話代・郵送代他 |
| | 旅費交通費 | 150,000 | 首都圏連絡交通費 |
| | 租税公課 | 100,000 | 労働保険料 |
| | 手数料 | 5,000 | 振込手数料 |
| | 雑費 | 127,551 | 来客用お茶代、打ち合わせ等 |
| | 計 | 2,582,551 | |
| | 当期支出合計 | 6,247,551 | |
| | 当期収支差額 | 0 | |
| | 前期繰越収支差額 | 0 | |
| | 次期繰越収支差額 | 0 | |

平成20年度事業費収支予算(案)内訳

I 収入の部

H20予算(案) 収入の部内訳

| | |
|----------|-----------|
| 会費 正会員 | 3,000,000 |
| 賛助会員 | 650,000 |
| 入会金 賛助会員 | 100,000 |
| その他収入 | 1,500,000 |
| 前期繰越 | 997,551 |
| 計 | 6,247,551 |

II 支出の部

事業費内訳

| 事業区分 | 決算 | 20年度予算案 |
|------------------------------|------------------|------------------|
| 1 情報の収集・伝達に関する事業 | 604,807 | 465,000 |
| ①ホームページ等通信手段活用事業 (運営費へ計上) | | 265,000 |
| ②機関誌等発行配布事業 | 54,285 | 100,000 |
| ③関係機関の情報収集事業 | | 50,000 |
| ④全国木材資源利用マップ作成事業 | | 50,000 |
| ⑤連合会運営事業 | 550,522 | |
| 2 調査・研究・開発に関する事業 | 394,364 | 570,000 |
| ①調査及び広報活動推進委員会の開催 | 92,711 | 120,000 |
| ②木材資源の需給実態調査事業 | 54,960 | 80,000 |
| ③未利用木材資源調査事業 | 216,693 | 220,000 |
| ④木質チップ等品質規格設定調査事業 | | 50,000 |
| ⑤木質チップ等生産会員実態調査事業 | 30000 | 100,000 |
| ⑥三宅島枯損木活用推進調査事業 | | — |
| 3 研修・イベント開催に関する事業 | 298,149 | 900,000 |
| ①時局講演会の開催 | 35,750 | 50,000 |
| ②シンポジュームの開催 | 21,180 | 50,000 |
| ③ユーザー懇談会の開催 | 9,725 | 50,000 |
| ④モデル工場等見学研修会の開催 | 231,494 | 250,000 |
| ⑤全国大会の開催 | | 500,000 |
| 4 協調・合意・連携に関する事業 | 169,430 | 1,300,000 |
| ①会員協会との協調・合意・連携の強化 | 109,430 | 120,000 |
| ②連合会賛助会員との協同事業等の実施 | 60,000 | 100,000 |
| ③国・自治体施策への協力 | | 150,000 |
| ④関係業界団体との連携強化 | | 300,000 |
| ⑤各種委員会及び協議会等への積極的参加 | | 30,000 |
| ⑥連合会運営事業 | | 600,000 |
| 5 要望・陳情・懇談に関する事業 | 35,180 | 50,000 |
| ①国及び関係業界等に対する要望・陳情 | 35,150 | 50,000 |
| 6 啓蒙・啓発に関する事業 | 100,347 | 380,000 |
| ①新聞・テレビ等広報媒体の活用 | | 30,000 |
| ②環境展等への参加 | 100,347 | 350,000 |
| 計 | 1,602,277 | 3,665,000 |

*1-⑤20年度は4-⑥へ変更組入

管理費内訳

| 科目 | 決算 | 20年度予算案 |
|-------|-----------|-----------|
| 人件費 | 1,290,080 | 1,750,000 |
| 諸会費 | 250,000 | 事業費へ |
| 消耗品費 | 67,464 | 150,000 |
| 通信運搬費 | 225,754 | 250,000 |
| 旅費交通費 | 97,620 | 150,000 |
| 租税公課等 | 75,817 | 100,000 |
| 広告宣伝費 | 202,650 | 事業費へ |
| 手数料 | 3,255 | 5,000 |
| 備品費 | 0 | 50,000 |
| 雑費 | 55,685 | 127,551 |
| 計 | 2,268,325 | 2,582,551 |

第5号議案 NPO 法人設立5周年記念式典の開催（案）について

1. 開催の趣旨

当連合会は、平成16年3月9日にNPO法人として認証を受けて以来、平成20年3月に5年目を迎える。

この間、木材資源のリサイクル環境は大きく変貌し、木質チップの需要は、バイオマス発電施設の新増設により燃料利用が著しく拡大し、廃材等の確保難もあってボード及び紙パルプ用原料に大きな影響を及ぼすとともに全体の需要に対応できない状況にある。

当連合会の活動は、会員による木材資源のリサイクル推進によって地域の環境保全はもとより、資源循環型社会の構築及び地球温暖化問題への対応など、業界を挙げて社会に貢献することによって、組織の健全な発展と会員の経営安定に資することを目的としている。

この一環として、5年ごとの節目に広く関係者に活動実態を披露し、理解と協力を仰ぎ、会員の意識の高揚を図るための記念式典を開催することによって当連合会の一層の発展を期することとする。

2. 開催計画（案）

(1) 開催時期：平成20年11月13日(木) 15:00~19:30

(前回・設立記念大会：平成16年8月20日16:00~20:30)

(2) 開催場所：明治記念館(東京都港区元赤坂2-2-23 JR信濃町駅下車3分)

(前回・赤坂プリンスホテル)

(3) 規模：約 200名 (前回173名)

・来賓：環境大臣(代理可)ほか国会議員 5名 (前回3名)
環境省・国土交通省・農林水産省・経済産業省 10名 (前回9名)
都道府県・関係団体・関係企業・報道 35名 (前回87名)
計 50名

・会員：北日本・関東・東海・近畿・中四国・九州・賛助会員 (前回76名)
(30) (50) (20) (5) (20) (5) (20) 計 150名

(4) 催 事

①講演会またはシンポジウム

・基調講演：環境省部長ほか (前回：南川大臣官房・部長)

②5周年記念パーティー

・祝 辞：環境大臣ほか (前回：加藤環境省副大臣)

(5) 予 算：360万円 (特別会計) (前回 300万円)

①参加者：3,000円/人 x 200人 = 600,000円 (前回 1人 15,000円)

②協会等負担：北日本 50万円・関東 50万円・東海 50万円・近畿 50万円・
中四国 30万円・九州 10万円

賛助会員 10万円 ・連合会 50万円 計 300万円 (前回 4協会 1,400,000円)

合計①+② 360万円

③寄付祝儀： 0円 (前回 300,000円)

第6号議案 その他

参考資料

- ・ 要望書
- ・ 平成 19 年度木質バイオマス需給アンケート調査結果(概要)
- ・ 「第 2 回木材資源のリサイクルに係るユーザー懇談会」
- ・ 東北木材リサイクルシンポジウム 2007・バイオマス総合展 2007
- ・ 国内視察研修会報告書
- ・ 木質チップ等需給問題検討会座席表
- ・ 「建設リサイクル推進に係る方策について」 中間とりまとめ
- ・ グリーン購入について
- ・ 北日本木材資源リサイクル協会 18 年・19 年比較
- ・ 関東木材資源リサイクル協会 18 年・19 年比較
- ・ 東海木材資源リサイクル協会 18 年・19 年比較
- ・ 中四国木材資源リサイクル協会 18 年・19 年比較
- ・ 木材チップ燃料需要実態
- ・ <木材資源(廃木材)の種類とリサイクルの現況>
- ・ 新聞掲載

要望書

近年、地球温暖化問題は、世界各国において最重要の緊急課題となっております。

このため、我が国においても原因物質である二酸化炭素の排出削減に向けて積極的な施策が展開されており、その一つとしてカーボンニュートラルの木質バイオマスの活用が大いに注目されております。

このことから、当連合会では、会員の総力を挙げて廃木材等から木質チップ等を生産し製紙やボード原料に供給するほか、発電施設等へのバイオマス燃料として有効利用を促進しているところであります。

しかしながら、これら資源リサイクルをより一層推進するためには、会員の努力だけでは解決のできない問題が多く、各種の制度の充実が必要となっております。

そこで、現状で当連合会会員が強く念願している別添の要望事項について、早期に実現できますよう特段のご配慮をお願いいたします。

平成19年12月10日

| | |
|--------|---------|
| 環境大臣 | 鴨下 一郎 様 |
| 国土交通大臣 | 冬柴 鐵三 様 |
| 経済産業大臣 | 甘利 明 様 |
| 農林水産大臣 | 若林 正俊 様 |

特定非営利活動法人

全国木材資源リサイクル協会連合会

理事長 彦坂 武功

要望事項

1. 木質（木くず）チップの廃棄物除外について （環境省）

現状において廃棄物処理法に定める「木くず」は、同法に基づき許可を受けた処理施設を所有する中間処理業者によって大部分がチップ化され製品原料および熱回収燃料として再生利用されている。

このことから、「規制改革・民間開放推進3か年計画」（平成16年3月19日閣議決定）および「規制改革推進のための3か年計画」（平成19年6月22日閣議決定）において、再生利用および有効利用する場合は、一部に廃棄物に該当しない措置や廃棄物処理施設に該当しない措置が講じられている。

また、循環型社会形成推進基本法（平成12年法律第110号）において、「循環資源」とは、廃棄物等で有用なもので、「循環的な利用」とは、再使用、再生利用および熱回収をいうと定義されている。

そこで、循環的な利用が確実に認められる木質（木くず）チップは、逆有償の如何にかかわらず有用物（廃棄物処理法で廃棄物とは不要物と定義）として廃棄物処理法上の廃棄物扱いから除外されることを要望する。

2. 「木くず」破砕施設の設置許可について、 （環境省）

産業廃棄物である「木くず」の破砕施設については、廃棄物処理法第15条第1項で1日当たりの処理能力が5トンを超えるものにつ

いて設置許可が必要とされている。

しかし、最近この処理規模未満と称した「木くず」の破砕施設が多数設置され、しかも一部に自社処理として「木くず」処理を受託しているケースもあり、「木くず」の不適正処理による木質チップの品質低下や不法投棄が懸念されている。

このため、全ての「木くず」破砕施設について設置許可対象とし、同法に基づく処理基準や報告等を義務付けられたい。

また、これら「木くず」破砕施設で処理された実績を木材資源リサイクル推進の観点から毎年度地域別に公表されたい。

3. 建築物に係る解体工事基準（床面積 80 m²）の撤廃と同解体工事の届出義務化について （国土交通省）

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成 12 年法律 126 号）の制定によって、一定規模以上の解体工事等の分別解体及び再資源化等が義務付けられ対象廃棄物のリサイクルが進展している。

しかし、建設発生木材の再資源化率は、平成 17 年度調査結果で 68.2% の状況にあり、より一層の対策が必要となっている。

特に、横行している違法解体を防止し、再資源化率の向上を図るためには、一定規模（床面積 80 m²）未満の解体工事についても同法の適用が必至と考えられ、現行規模基準の撤廃と全ての解体工事の届出を義務化されるよう要望する。

4. 建設発生木材に係る優良資源化施設の認定について (国土交通省)

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年法律126号)に定める建設発生木材の再資源化率を高めるため、一定の基準に適合した「優良資源化施設」を認定し、モデル施設の普及とリサイクル意識の高揚を図りたい。

5. 新エネルギーの確保に向けた木質バイオマス供給施設等への助成について (経済産業省)(農林水産省)

近年の地球温暖化防止対策の一環として、発電施設等への木質チップの燃料利用が急増している。

また、近い将来に向けRPS法によってバイオマス発電量を倍化させる計画があると共に、バイオマス日本総合戦略推進会議においても自動車用燃料としてバイオエタノールを600万k1確保する計画が立てられている。

これらの計画達成に向けては、カーボンニュートラルの木材資源の活用は不可欠であり、現状において最も有効な未利用資源である林地残材を安定的かつ経済的に確保することが極めて重要である。

そのため、国を挙げての体制づくりや林地残材の処理加工施設等の整備に必要な新たな助成制度を確立されたい。

平成 19 年度木質バイオマス需給アンケート調査結果（概要）

平成 19 年度調査は、昨年度実施した木質バイオマスのサーマル利用のほか、新たにマテリアル利用及び関連する流通業並びに住宅産業の実態を把握した。また、木質チップの生産及び供給実態を把握するため、当連合会会員を対象に同様の調査を実施した。

1. 調査対象および有効回答数

| 調査対象 | 有効回答数* | アンケート先選択（HP） |
|---|-------------------------|--------------------------------------|
| ①マテリアル(原料)利用 内訳 ボード会社 製 紙会社 | 15社 11社 4社 | 日本繊維板工業会会員 日本製紙連合会会員 |
| ②サーマル(燃料)利用 内訳 製 紙会社 セメント会社 売電専用会社 | 37社 15社 7社 15社 | 日本製紙連合会会員 (社)セメント協会会員 当連合会調査会社 |
| ③流通(木質チップ)関係 | 2社 | 当連合会調査会社 |
| ④住宅産業(廃材供給)関係 | 10社 | (社)住宅生産団体連合会会員 |
| 小計 | 64社 | |
| ⑤廃材チップ生産・供給関係 | 62社 | 当連合会会員 |
| 計 | 126社 | |

* 当連合会会員以外の①～④の調査対象は 161 社で、そのうち有効回答数は 64 社、廃材チップの利用なし回答 68 社、未回答 29 社であった。

2. 調査結果の概要

各調査対象のアンケート集計結果は、別途掲載することとし、ここでは、木質バイオマス需給にとって最も関心の高い調査結果について記述する。

表 1 廃材チップ等の需給量および販購買価格—1社当たりの平均—

| 区分 | 需給量(千 t/年・社) | 販購買価格(千円/t) |
|---|----------------------------|---|
| ① マテリアル(原料)利用 ボード会社 製 紙会社 | 34 (全量の 60%) 9 (全量の 4%) | (ボード会社の輸送費負担検討中 2) 切削 3.7 (5社平均) 破碎 4.4 (8社〃) 8~9 (1社・輸送費検討中) |
| ② サーマル(燃料)利用 製 紙会社 セメント会社 売電専用会社 | 95 14 79 | 1 (3社平均・輸送費検討中 1) -1~1 (2社・同上 1) 1.5 (4社平均・同上 3) |
| ③ 木質チップ流通業 | 250 | 回答なし |
| ④ 住宅産業(廃材供給) | 19 | 9.7 (委託処理費) |
| ⑤ 廃材チップ生産供給業 | 32 | 表 2 のとおり |

表 2 廃材チップ生産者の製品チップ販売価格

| 用途別 | (千円/t) | 1未満 | 1～2 | 2～5 | 5～7 | 7～10 | 10～ | 回答計 |
|-------|--------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| マテリアル | ボード | 3 | 5 | 12 | 2 | 1 | | 23 |
| | 製紙 | 2 | 4 | 3 | 3 | 9 | 2 | 23 |
| サーマル | 製紙・売電 | 31 | 12 | 1 | | | | 44 |
| | セメント | 10 | 2 | | | | | 12 |

—考察—

近年、木質バイオマス利用における廃材チップの需給が逼迫している中で、1社当たりの需給量および販購買価格は、関係業界にとって最も関心の高い事項であり、今後の業界の発展と関係企業の経営安定に大きな影響があり重要である。

本調査結果は、表 1 及び表 2 に示すとおり、

- (1) 廃材チップの 1 社当たり平均需要量は、製紙会社のサーマル（燃料）利用が年間 95 千トンと最も多く、次に売電専用会社の 79 千トンで発電および熱利用への需要が多い。
- (2) また、廃材チップのマテリアル（原料）利用の主体はボード会社で、1社当たり年間 34 千トン利用され、廃材チップは、木質チップ利用全体の 60% を占めていたが、製紙会社では 9% であった。
- (3) これらの需要に対し、当連合会会員の 1 社当たりの廃材チップ生産・供給量は年間 32 千トンで、流通業者が 1 社当たり年間 250 千トン扱っており、この生産に必要な廃材を住宅産業が 1 社当たり 19 千トン供給している。
- (4) 一方、廃材チップの販購買価格は、表 1 のとおり価格を記載されたユーザーは少ないが、表 2 の生産者の製品チップ販売価格の最多価格帯と類似している。
- (5) なお、最近の輸送費コスト高の影響と需要過多により、特に、サーマル向けチップが値上がりの傾向にあり、この調査の中でも一部のユーザーで輸送費負担の検討がなされている。
- (6) さらに、本調査では十分な実態を把握できていないが、現状で廃材チップ生産資材の確保が極めて困難となっており、加えて、廃材の処理費も大幅な低下傾向にあることから需要増に対応できない状況にあり、今後の安定供給対策が大きな課題となっている。

<参考> 木質チップの需要形態と供給資源内訳（H18 推定）*

| | | | | | |
|------|------------|----------|-------------|--------|--------|
| 需要区分 | 木質ボード | 紙・パルプ | 敷料・肥料等 | サーマル燃料 | 計(万 t) |
| | 250 | 290 | 110 | 350 | 1,000 |
| 供給資源 | 建設系木屑 | 製材系残材 | 廃パレット等 | 林地残材等 | 計(万 t) |
| | 350(70) ** | 450 (90) | 150 (60) ** | 50 (5) | 1,000 |

() は各資材の資源化率%。資源化以外は、縮減・焼却・埋立・林地放置等。

*日本繊維板工業会資料参照 **うち連合会会員チップ化(供給)量：約 210 万 t

3. 関係企業の連合会への主な要望事項

回答者の要望として、廃材チップの利用企業は品質と確保対策を、チップ生産及び資材供給業者は価格と流通面の対策要望が多かった。

その主なものは次のとおりである。

(1) マテリアル(原料)利用企業

<品質要望>

・ 混入禁止の要望

防腐防虫剤付着材、ペンキ・油汚れ・腐れ材、生木の枝葉・不可樹種・木質以外のもの ホワイトウッドに限る。

・ CCA 処理材の分離、塩素 0.09 以下重金属 0.1 以下のもの

<確保対策要望>

- ・ 林地残材の確保に期待、間伐材等の有効利用とチップ供給体制の強化
- ・ 燃料より原料化利用優先、公共施設や焼却業者による木質類の焼却禁止
- ・ 廃材の安値処理を回避、地域内及び業界全体で適正処理の推進
- ・ 木材チップのキャパシティ配分による大企業偏重の防止、供給情報の開示
- ・ ユーザーとチップ業者の連携強化

(2) サーマル(燃料)利用企業

<品質要望>

ボイラーの事故防止及び環境保全面から(1)と同様に異物及び有害物質混入不可が多く、塩素分・灰分許容量を定めている企業も多いが、次の特色があった。

- | | | |
|----------------------------|---------|----------------|
| ・ 希望サイズ：50mm未満 26/35 (74%) | マテリアル利用 | ・ 4/10 (40%) |
| ・ ダスト混入不可：27/36 (75%) | (破砕チップ) | ・ 6/12 (50%) |
| ・ 生木の受入不可：28/41 (68%) | | ・ 26/26 (100%) |
| ・ 含水率制限あり：29/36 (81%) | | ・ 3/12 (25%) |

<確保対策要望>

- ・ 安定品質と安定供給 品質基準のガイドライン制定と供給体制の確立
- ・ 森林保全と林地残材確保の活動推進
- ・ ストックヤードの確保

(3) 資材供給関係企業

- ・ 古木再生利用ルートの構築
- ・ 木質チップの逆有償の回避と適正価格の設定
- ・ コスト中心の流通から資源循環型重視の取り組み

(4) チップ生産・供給企業

- ・ 輸送費高騰及び廃材処理費低下によるチップ価格の値上げ
- ・ 情報の提供と関係機関との連携 業界の安定的発展

以上

「第2回木材資源のリサイクルに係るユーザー懇談会」

1. 日 時：平成19年11月19日（月）

第一部 マテリアル関係懇談会 13：00～15：00

第二部 サーマル 関係懇談会 15：10～17：00

2. 会 場：朝日生命ビル 17階会議室（東京）

3. 出席者：マテリアル関係

（ボード会社代表5社・製紙会社2社及び連合会役員ほか）

サーマル 関係

（製紙会社2社・セメント会社1社・売電会社2社及び〃）

来 賓

（国土交通省）

4. 会議の概要

議題「木質バイオマス需給の最近の動向について」、主催者代表およびユーザー代表の開会挨拶に引き続き、出席者の紹介及び資料説明の後、自由討論を行った。

～出席者の発言要旨等詳細はホームページに掲載しております。～

東北木材資源リサイクルシンポジウム 2007

日 時：10月13日(土) 13時～15時

会 場：夢メッセみやぎ

テーマ：「進めよう木材リサイクル！
止めよう温暖化！」

主催：全国木材資源リサイクル協会連合会
北日本木材資源リサイクル協会



バイオマス総合展 2007

10月24日(水)～26日(金)

東京ビックサイト西棟

(60社・団体 148小間)

入場者数

| | |
|--------|--------|
| 10月24日 | 4668名 |
| 10月25日 | 6795名 |
| 10月26日 | 6736名 |
| 合計 | 18199名 |



国内視察研修会報告書

第1回国内視察研修会を下記の日程および内容により実施したところ、その概要は次のとおりであった。

- ・視察先：(株)京都環境保全公社伏見環境保全センター（京都市伏見区）の視察結果
当社は、昭和49年に創立され京都府・京都市及び民間企業44社で構成されている。業務は、産廃収運業・中間処理業・最終処分業で、資本金15億円・従業員93名の総合産廃処理会社である。

視察した伏見環境保全センターは、木くず等の産廃の選別・破碎のほかRPF製造および焼却発電などを実施している中間処理場で、当日は、パワーポイントによる詳細説明のほか工場内全施設の視察を行い、質疑応答も活発に行われた。

応対者：石田社長・井上総務部長・壇野営業部長・石橋総務人事課長ほか多数

- ・視察先：日吉町森林組合（京都府南丹市）の視察結果

日吉町森林組合は、組合員所有の森林間伐施業を黒字で行っているモデルケースとして全国的に評価されていることから、その実態を視察した。

当日は、各種データや写真等による詳細説明のほか、現場での施業状況を視察し、今後の林地残材利用における課題及び可能性等を見聞した。

応対者：井尻組合長・井上森林プランナーほか

以上の視察のほか、古都の歴史・文化・芸術にも触れ参加者との親睦が図れた。

記

1. 視察内容：「最新の木くず等選別・破碎処理施設および間伐施業のモデル森林」
2. 場 所：(株)京都環境保全公社伏見環境保全センター（京都市伏見区）
—収集運搬から最終処分場までの産廃総合処理会社—
RPF工場を視察 <http://www.kyoto-kankyo.net/>
および日吉町森林組合（京都府南丹市）
—間伐施業と森林コンサルタント業のパイオニア—
事業説明と施業現場視察 <http://www2.ocn.ne.jp/~h-sinrin/>
3. 日 程：平成19年11月26日（月）～27日（火）（1泊2日）
参加者数：18名（別添）
集 合：11月26日13時 JR京都駅（八条口）新幹線中央出口改札前
宿 泊：ハートンホテル京都（部屋；シングル）
京都市中京区東洞院通御池上ル Tel 075-222-1300
懇親会場：京都・祇園丸山「京料理いそべ本店」
京都市東山区丸山公園内（坂本竜馬銅像東側）Tel 075-561-2216
解 散：11月27日17時 JR京都駅
コ ー ス：
（11/26）京都駅13：00発～伏見環境保全センター視察～ホテル17：00着
懇親会18：00～
（11/27）ホテル8：30発～日吉町森林組合視察～京都駅17：00着（解散）
4. 会 費：3万5千円/人（ホテル代・懇親会代等）

木質チップ等需給問題検討会(仮称)座席表 (H20.2.8)

(敬称略)

| | | | | | | |
|-----------------------|---|------------------------|--------------------|---------------------|-----------------------|----------------------------|
| 経済産業省 新エネルギー対策課 | 農林水産省環境バイオマス政策課調査官 | 農林水産省 バイオマス推進室長 | 経済産業省 リサイクル推進課長 | 経済産業省 新エネルギー対策課長 | 経済産業省 新エネルギー対策課長補佐 | 経済産業省 新エネルギー対策課係長 |
| 高橋圭多 | 吉野 示右 | 下村 聡 | 安藤 晴彦 | 渡邊 重信 | 上田 仁 | 松田 吉正 |
| 農林水産省 バイオマス専門官 |  | | | | | 賛助会員 繊維板工業会常務 涌田良一 |
| 遠藤 浩由 | | | | | | 賛助会員 日本製紙(株) 部長 井澤佳昭 |
| 農林水産省 木材利用課長 | | | | | | 関東協会 亀井寿之 |
| 岩本 隼人 | | | | | | 中四国協会 筑後辰夫 |
| 農林水産省 木材利用課長補佐 | | | | | | 北日本協会 荒川洋二 |
| 山口 輝文 | | | | | | 関東協会 矢嶋 明 |
| 農林水産省木材産業 課担当係長 | | | | | | 東海協会 石田信正 |
| 小林貞成 | | | | | | 中四国協会 田中一正 |
| 地球環境局地球温暖 化対策課調整官 | | | | | | |
| 室石 泰弘:欠 | | | | | | |
| 地球環境局地球温暖 化対策課長補佐 | | | | | | |
| 足立 晃一:欠 | | | | | | |
| 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 | | | | | | |
| 下村善嗣 | | | | | | |
| 環境省 産業廃棄物課長補佐 | | | | | | |
| 齊藤忠俊 | | | | | | |
| 連合会・専務 中川和義 | 北日本協会 鈴木 隆 | 連合会理事長 関東協会 彦坂武功 | 東海協会 山口昭彦 | 中四国協会 片岡重治 | 九州ネットワーク代表 河野秀彦 | |

事務局

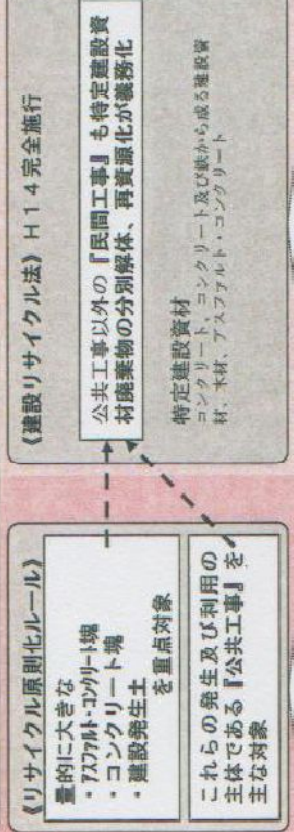
| | | | | |
|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 連合会 椎津まゆ美 | 北日本協会 伊藤孝典 | 関東協会 小林美幸 | 東海協会 眞山 隆 | 中四国協会 岡崎博紀 |
|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|

『建設リサイクル推進に係る方策について』中間とりまとめ

これまでの建設リサイクルに関する推進施策

背景
平成12年
平成17年

十分でない建設副産物の有効利用
最終処分場の逼迫



規制的手法が中心の施策により一定の成果

| | | | |
|-------------------------|------------|---|------------|
| ●建設廃棄物の再資源化等率 (再資源化・縮減) | H17 58% | ⇒ | H12 85% |
| | H17 92% | ⇒ | H17 92% |

課題

- 再資源化等率が低い品目が残っている
- 発生抑制の取り組みは、結句就いたばかり
- 依然として多い建設廃棄物の不法投棄
- 「質」を高める取り組みが不十分

今後の建設リサイクルに関する施策の中長期的方向性

規制的手法に加え、民間主体の創造的な取り組みを推進力とした新たな3R推進手法の構築を目指す

(1) 関係者の意識の向上と連携強化

- 建設事業の大きな汚点(建設廃棄物の約8割が建設廃棄物のため)
- 発生から中間処理、再生利用、適正処理までの一連の物流管理
- 課題や効果の「見える化」

(2) 持続可能な社会を実現するための他の環境政策との統合的展開

- 循環型社会の構築
- 自然環境保全
- 生活環境保全
- 温室効果ガス排出削減

(3) 民間主体の創造的取り組みを軸とした建設リサイクル市場の育成と技術開発の推進

- 透明性の高い健全なリサイクル市場の整備
- 民間主体の創造的な取り組みの「見える化」
- 民間主体の技術開発の適切な評価と活用

§ 建設リサイクル推進を支える横断的取り組み

- 情報管理と物流管理
 - 建設副産物の物流を「見える化」し再資源化の適正性を把握するための情報追跡・管理方策の検討
 - 建築物や構造物の履歴情報(設計情報、材料など)の蓄積、活用
- 関係者の連携強化
 - 設計段階で、長寿命化や分別解体等の一貫した構造や資材の採用を促すための方策の検討
 - 資材製造者が持つノウハウを施工者や再資源化業者とともに活用
- 理解と参画の推進
 - 契約時に、分別解体、再資源化、適正処理等の費用の内訳の明示
 - 再資源化や適正処理に必要な費用が適正に負担されるよう啓発
- 建設リサイクル市場の育成
 - 中小建設業のコンプライアンス(法令遵守)
 - 質の高い建設リサイクルを推進している企業の公正かつ客観的な評価体制の確立など
 - 総合評価方式などの活用による建設リサイクルの推進
 - 地域における建設副産物の需給バランスの均衡に資する情報収集・発信の検討
- 技術開発等の推進
 - 建設リサイクルの取り組みにおける環境負荷低減効果の簡便な算定手法の検討
 - 民間の技術開発を促すため、技術を客観的に評価、活用する仕組みの検討

§ 建設リサイクル推進にあたっての個別課題に対する取り組み

- 発生抑制について
 - 予防保全の実施等による構造物の延命化等、戦略的な維持管理手法の確立
 - 住宅の長寿命化の推進
 - 廃棄物の発生抑制に関する指標の検討
 - 既存ストックの有効活用について啓発
- 現場分別について
 - 現場作業員教育の強化等による現場分別の実効性向上
 - 小口化・多品目化した建設副産物の小口巡回共同回収システムの検討
 - 現場分別基準の策定
- 再資源化・縮減について
 - 再生資材を用いたコンクリートの普及
 - 利用用途に応じた木材チップの品質基準や建設発生木材の分別基準の策定
 - 民間工事由来の建設汚泥処理士の工事間利用に関する課題の整理とルールの検討
 - 建設発生土の需給バランスの改善を図るための仕組みの検討
- 適正処理について
 - 公共工事において、民間工事に率先して電子マニフェストを段階的原則化
- 再使用・再生材の利用について
 - 地産再生資材の舗装への適用性評価の検討
 - 再生資材の品質基準と確認手法の検討
 - 建設資材の再使用の促進

今回の中間とりまとめに対して皆様のご意見を募集しています。(平成19年12月28日まで)

●中間とりまとめに対するパブリックコメントについて



グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。

グリーン購入は、消費生活など購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていく可能性を持っています。

| | | |
|-------------------|---------------------------------|-----|
| <u>紙 類</u> | コピー用紙・印刷用紙・トイレトペーパー・ティッシュペーパーなど | 181 |
| <u>文具類</u> | 筆記具・一般事務用品・ファイル・バインダー類など | 839 |
| <u>オフィス家具等</u> | 椅子・机・棚・ホワイトボード・傘たてなど | 89 |
| <u>OA 機器</u> | 計算機・プリンタ・インクカートリッジなど | 234 |
| <u>インテリア・寝装寝具</u> | カーテン・カーペット・布団など | 59 |
| <u>作業手袋</u> | 作業軍手など | 47 |
| <u>その他繊維製品</u> | ブルーシート・防球ネット | 21 |
| <u>設備</u> | 節水機器 | 10 |
| <u>公共工事(資材)</u> | 集成材・合板・パーティクルボード・繊維板など | 235 |

北日本木材資源リサイクル協会

18年入荷量(対象9社)

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 合計 | 14,110 | 15,731 | 18,497 | 19,873 | 18,484 | 19,668 | 18,632 | 17,919 | 19,082 | 20,856 | 20,223 | 19,792 | 222,867 |

19年入荷量(9社)

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|----|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 合計 | 15,577 | 16,631 | 19,961 | 9,148 | 20,441 | 19,439 | 18,956 | 17,269 | 15,906 | 21,574 | 20,047 | 19,287 | 214,238 |

入荷量前年度比較比率

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 | 633.5% | 300.2% | 193.6% | 169.5% | 119.4% | 63.5% | 109.4% | 305.3% | 61.0% | 158.7% | 46.5% | 122.4% | 142.7% |
| 2 | 942.0% | 199.8% | 437.0% | 90.9% | 171.4% | 190.4% | 161.0% | 115.5% | 188.6% | 176.5% | 164.9% | 173.7% | 184.1% |
| 3 | 101.4% | 93.2% | 90.7% | 81.5% | 101.0% | 88.1% | 98.5% | 99.3% | 89.4% | 99.4% | 100.8% | 92.8% | 94.4% |
| 4 | 134.6% | 157.8% | 190.8% | 85.3% | 99.8% | 98.2% | 52.8% | 51.3% | 69.9% | 76.7% | 62.1% | 119.1% | 86.0% |
| 5 | 49.3% | 73.2% | 78.0% | 89.0% | 101.8% | 91.8% | 104.8% | 71.3% | 64.1% | 87.5% | 86.5% | 72.2% | 80.6% |
| 6 | 99.6% | 99.4% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 99.8% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 174.9% | 106.2% |
| 7 | 129.7% | 123.5% | 119.0% | 11.3% | 126.0% | 119.4% | 119.0% | 96.2% | 81.4% | 107.4% | 109.1% | 98.3% | 101.3% |
| 8 | 204.2% | 145.8% | 199.0% | 436.2% | 134.7% | 95.0% | 121.6% | 87.6% | 59.9% | 293.0% | 201.4% | 110.0% | 163.7% |
| 9 | 14.9% | 15.6% | 30.3% | 88.4% | 50.1% | 31.7% | 42.8% | 109.2% | 89.3% | 72.1% | 51.1% | 70.9% | 50.2% |
| 合計 | 110.4% | 105.7% | 107.9% | 46.0% | 110.6% | 98.8% | 101.7% | 96.4% | 83.4% | 103.4% | 99.1% | 97.5% | 96.1% |

18年原料出荷量(対象6社)

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|----|--------|--------|-------|------|------|--------|------|------|------|------|--------|------|--------|
| 合計 | 8190.8 | 8232.6 | 10632 | 9562 | 9279 | 9806.7 | 8711 | 7647 | 8592 | 9139 | 8764.4 | 9313 | 107869 |

19年原料出荷量(対象6社)

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|----|--------|--------|-------|--------|--------|------|------|--------|------|-------|-------|--------|--------|
| 合計 | 8969.1 | 9111.6 | 10000 | 9106.3 | 8797.3 | 9369 | 9549 | 9729.1 | 9143 | 10103 | 10180 | 8865.9 | 112924 |

原料出荷量前年度比較比率

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 40.0% |
| 2 | 126.1% | 133.1% | 122.3% | 111.8% | 107.0% | 100.8% | 102.9% | 156.9% | 123.9% | 127.0% | 126.7% | 117.5% | 120.7% |
| 3 | 27.9% | 13.6% | 0.0% | 7.1% | 10.2% | 10.3% | 8.0% | 9.9% | 0.0% | 119.9% | 26.4% | 53.1% | 12.3% |
| 4 | 37.1% | 86.5% | 60.7% | 88.0% | 47.2% | 44.1% | 102.0% | 52.8% | 52.8% | 149.1% | 134.6% | 75.0% | 72.5% |
| 5 | 102.6% | 102.9% | 83.2% | 90.3% | 93.2% | 99.3% | 118.4% | 113.7% | 98.8% | 100.6% | 110.0% | 85.3% | 98.9% |
| 6 | 55.7% | 16.2% | 29.6% | 62.6% | 78.6% | 0.0% | 280.0% | 233.3% | 0.0% | 24.5% | 95.7% | 0.0% | 54.4% |
| 合計 | 109.5% | 110.7% | 94.1% | 95.2% | 94.8% | 95.5% | 109.6% | 127.2% | 106.4% | 110.6% | 116.2% | 95.2% | 104.7% |

18年燃料出荷量

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|----|--------|--------|--------|------|--------|--------|------|------|------|-------|--------|------|---------|
| 合計 | 6238.8 | 6832.6 | 7399.3 | 7129 | 6844.8 | 6917.2 | 9373 | 8440 | 9649 | 11490 | 9764.2 | 9643 | 99720.9 |

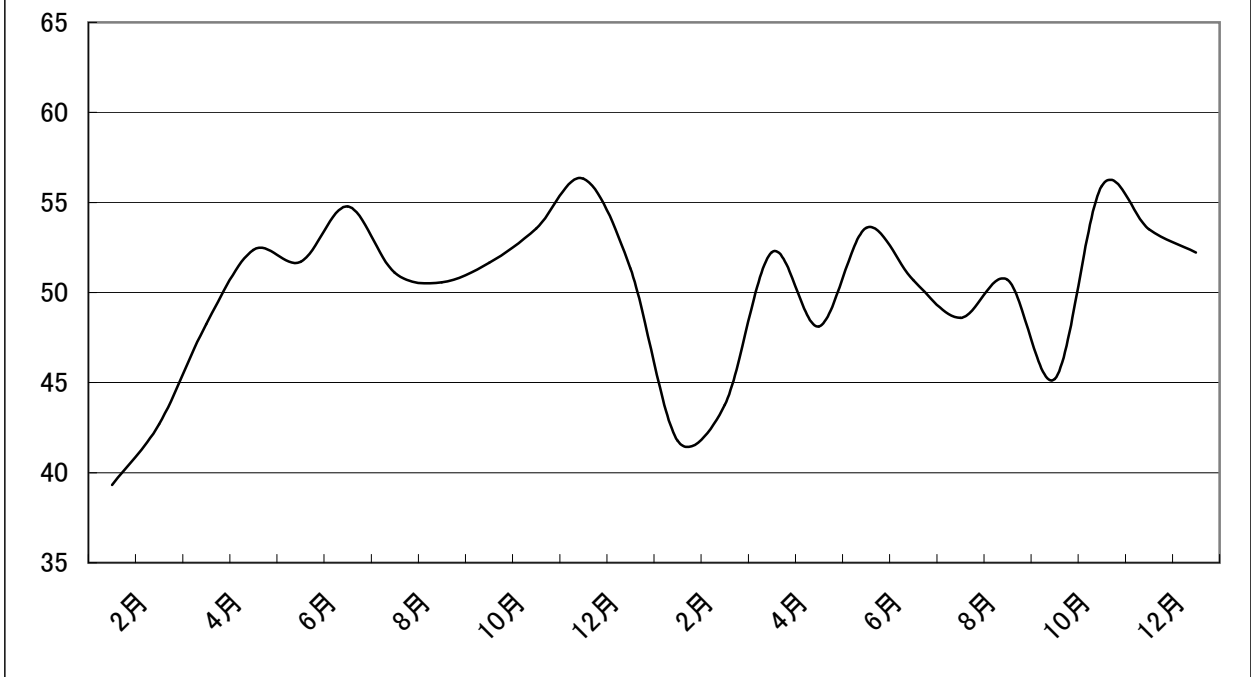
19年燃料出荷量

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|-------|------|--------|------|-------|------|-------|--------|
| 合計 | 9548.5 | 8596.2 | 8850.4 | 8642.5 | 8989.3 | 11427 | 9370 | 7650.4 | 8393 | 10213 | 9595 | 10601 | 111876 |

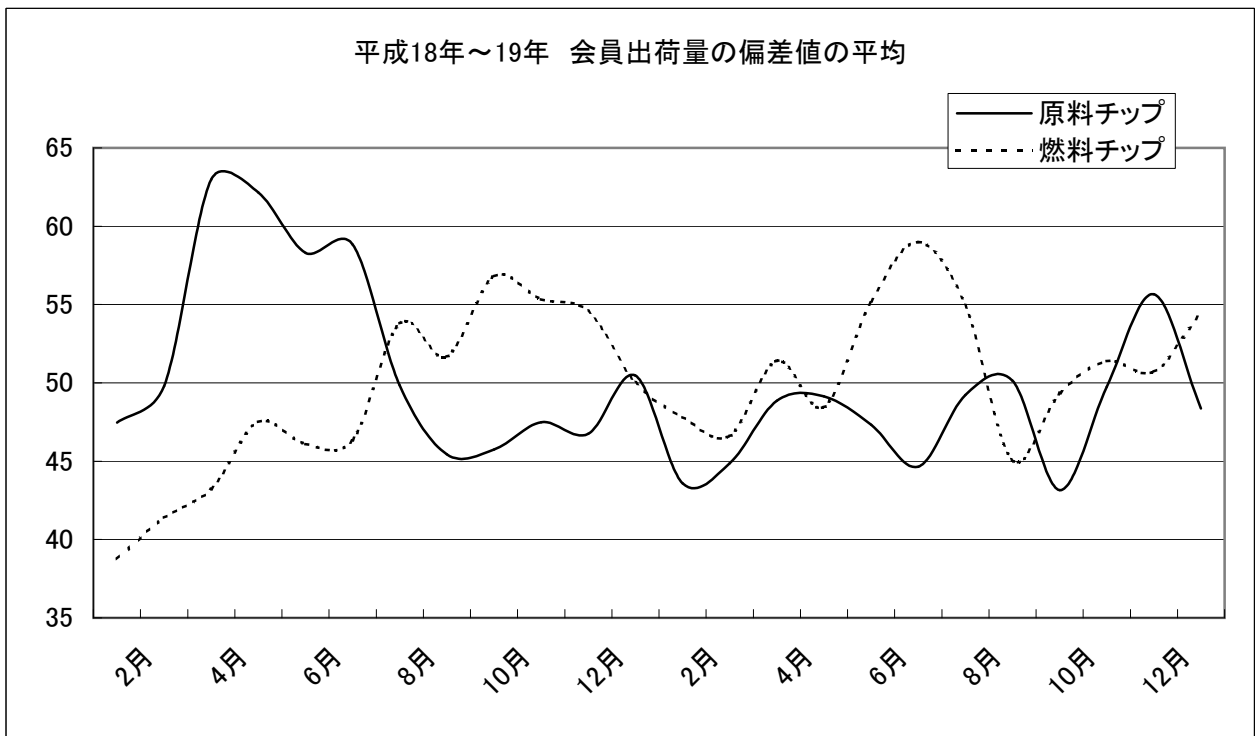
燃料出荷量前年度比較比率

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 | 132.6% | 137.6% | 134.8% | 78.1% | 89.0% | 157.4% | 113.7% | 79.7% | 91.9% | 149.0% | 94.2% | 114.5% | 110.5% |
| 2 | 162.1% | 112.0% | 110.4% | 103.2% | 138.1% | 138.0% | 126.6% | 98.8% | 92.6% | 96.6% | 95.8% | 99.3% | 112.7% |
| 3 | 267.3% | 158.2% | 169.1% | 99.7% | 107.3% | 54.3% | 49.3% | 51.4% | 31.7% | 35.1% | 52.8% | 113.0% | 71.8% |
| 4 | 45.1% | 67.0% | 98.2% | 70.0% | 219.2% | 172.8% | 113.9% | 73.8% | 66.0% | 71.5% | 57.6% | 52.7% | 83.0% |
| 5 | 99.7% | 99.6% | 99.9% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 155.0% | 103.5% |
| 6 | 154.9% | 146.5% | 126.6% | 154.4% | 127.4% | 206.9% | 83.3% | 89.9% | 86.1% | 86.0% | 103.5% | 119.1% | 115.2% |
| 7 | - | - | - | - | - | 563.6% | 133.7% | 56.6% | 140.2% | 96.6% | 159.8% | 246.8% | 214.9% |
| 合計 | 153.1% | 125.8% | 119.6% | 121.2% | 131.3% | 165.2% | 100.0% | 90.6% | 87.0% | 88.9% | 98.3% | 109.9% | 112.2% |

平成18年～19年 会員木くず入荷量の偏差値の平均



平成18年～19年 会員出荷量の偏差値の平均



<H18入荷状況>

関東木材資源リサイクル協会

| 工場名 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 合計 | 56,529 | 65,143 | 74,756 | 70,532 | 66,757 | 76,471 | 74,947 | 68,285 | 73,683 | 73,678 | 71,307 | 69,260 | 841,348 |

<H19入荷状況>

<単位 : トン>

| 工場名 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 合計 | 56,757 | 64,317 | 75,367 | 71,732 | 69,695 | 77,042 | 72,375 | 64,463 | 68,230 | 76,030 | 71,560 | 67,832 | 835,399 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 | 129.7% | 93.2% | 96.7% | 105.3% | 128.1% | 107.2% | 103.9% | 113.1% | 125.9% | 131.0% | 130.1% | 118.4% | 114.3% |
| 2 | 88.3% | 86.7% | 90.9% | 86.6% | 90.4% | 91.0% | 86.7% | 85.6% | 82.5% | 87.3% | 85.7% | 88.4% | 87.6% |
| 3 | 97.0% | 79.5% | 66.0% | 65.6% | 91.7% | 59.3% | 79.1% | 108.4% | 128.5% | 136.2% | 96.6% | 145.4% | 90.2% |
| 4 | 95.6% | 91.0% | 97.1% | 98.5% | 99.0% | 89.9% | 94.0% | 95.0% | 93.6% | 99.4% | 108.4% | 104.5% | 97.0% |
| 5 | 154.8% | 109.7% | 107.7% | 126.0% | 96.1% | 103.6% | 92.9% | 93.4% | 99.6% | 113.9% | 131.3% | 103.2% | 108.4% |
| 6 | 101.7% | 91.0% | 96.7% | 94.9% | 94.8% | 88.0% | 82.0% | 65.4% | 81.2% | 87.6% | 81.9% | 88.3% | 87.2% |
| 7 | 75.3% | 80.0% | 83.4% | 105.5% | 91.3% | 83.0% | 96.9% | 92.6% | 84.8% | 101.3% | 90.4% | 71.3% | 87.5% |
| 8 | 134.1% | 96.8% | 100.0% | 125.0% | 156.0% | 149.4% | 138.6% | 97.4% | 89.2% | 117.1% | 111.1% | 96.4% | 116.1% |
| 9 | 60.0% | 69.2% | 64.5% | 54.5% | 54.5% | 54.5% | 34.4% | 51.9% | 44.4% | 70.8% | 62.1% | 78.9% | 57.0% |
| 10 | 104.7% | 94.7% | 96.3% | 103.7% | 95.2% | 91.8% | 94.7% | 89.0% | 87.3% | 109.1% | 97.5% | 92.7% | 96.2% |
| 11 | 110.7% | 117.7% | 119.0% | 106.6% | 104.0% | 97.2% | 92.5% | 90.8% | 86.6% | 100.6% | 92.6% | 85.0% | 99.4% |
| 12 | 31.4% | 87.5% | 89.9% | 88.7% | 109.5% | 111.7% | 90.7% | 122.0% | 104.7% | 110.2% | 97.9% | 107.2% | 94.2% |
| 13 | 98.0% | 98.9% | 94.5% | 90.5% | 88.4% | 143.0% | 121.9% | 101.2% | 102.6% | 131.5% | 125.7% | 118.4% | 109.2% |
| 14 | 206.6% | 197.8% | 143.7% | 135.7% | 173.8% | 168.1% | 137.9% | 136.4% | 107.1% | 132.5% | 120.7% | 120.2% | 140.5% |
| 15 | 99.1% | 108.1% | 93.6% | 102.3% | 93.3% | 82.1% | 89.0% | 72.1% | 83.5% | 92.8% | 88.5% | 77.5% | 89.7% |
| 16 | 61.5% | 81.1% | 100.4% | 93.3% | 123.7% | 160.4% | 121.3% | 119.4% | 116.7% | 131.4% | 135.7% | 124.7% | 115.4% |
| 17 | 96.1% | 85.3% | 89.4% | 80.6% | 79.1% | 77.5% | 75.5% | 91.0% | 87.5% | 94.1% | 93.6% | 90.4% | 86.3% |
| 18 | 101.7% | 123.8% | 118.3% | 107.7% | 120.8% | 113.8% | 90.4% | 93.7% | 80.4% | 79.0% | 66.6% | 65.7% | 94.9% |
| 19 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | 1400.0% | 700.0% | 266.7% | 225.0% | 140.0% | 126.7% | 160.0% | 129.0% | 88.8% | 237.1% |
| 20 | 173.1% | 105.6% | 95.9% | 115.7% | 146.8% | 77.3% | 121.9% | 75.4% | 78.5% | 84.4% | 96.8% | 117.0% | 103.2% |
| 21 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | 305.8% | 262.7% | 274.5% | 235.0% | 96.3% | 159.5% | 304.4% |
| 22 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | 94.3% | 94.3% | 93.6% | 90.8% | 331.8% |
| 合計 H19/H18 | 100.4% | 98.7% | 100.8% | 101.7% | 104.4% | 100.7% | 96.6% | 94.4% | 92.6% | 103.2% | 100.4% | 97.9% | 99.3% |

<H18出荷状況>

| 工場名 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 合計 | 59,881 | 66,756 | 74,289 | 70,383 | 67,000 | 75,139 | 71,579 | 66,036 | 76,505 | 77,359 | 75,079 | 71,212 | 851,218 |

<H19出荷状況>

<単位 : トン>

| 工場名 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 合計 | 63,217 | 69,340 | 80,304 | 77,263 | 72,800 | 78,658 | 76,334 | 67,929 | 72,126 | 79,304 | 73,759 | 69,531 | 880,565 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 | 125.6% | 81.5% | 95.8% | 94.9% | 127.9% | 123.4% | 94.4% | 113.8% | 118.4% | 123.4% | 128.6% | 117.6% | 110.8% |
| 2 | 123.2% | 87.9% | 103.0% | 99.8% | 105.2% | 103.3% | 112.1% | 96.0% | 92.1% | 107.3% | 96.1% | 90.0% | 100.9% |
| 3 | 324.4% | 448.5% | 416.3% | 323.3% | 348.8% | 337.0% | 280.6% | 170.5% | 101.6% | 127.0% | 101.3% | 106.6% | 188.2% |
| 4 | 95.8% | 92.3% | 98.8% | 101.4% | 102.7% | 94.7% | 97.1% | 98.9% | 95.2% | 101.9% | 111.3% | 105.9% | 99.6% |
| 5 | 81.0% | 74.8% | 71.2% | 103.7% | 100.1% | 90.1% | 85.7% | 90.6% | 89.1% | 119.4% | 111.1% | 103.1% | 92.0% |
| 6 | 102.2% | 87.5% | 95.9% | 94.4% | 82.5% | 82.1% | 119.2% | 84.4% | 96.1% | 96.3% | 99.7% | 107.4% | 95.2% |
| 7 | 98.3% | 93.7% | 91.3% | 87.6% | 100.9% | 98.0% | 83.3% | 108.6% | 95.3% | 79.1% | 73.4% | 63.5% | 88.5% |
| 8 | 124.1% | 85.4% | 123.0% | 122.0% | 148.6% | 131.8% | 154.8% | 138.0% | 73.4% | 136.3% | 69.9% | 130.0% | 116.0% |
| 9 | 66.7% | 60.7% | 69.0% | 101.6% | 46.2% | 48.6% | 29.7% | 51.9% | 47.6% | 71.2% | 72.6% | 76.3% | 58.2% |
| 10 | 97.8% | 118.5% | 98.8% | 103.3% | 117.6% | 113.7% | 123.1% | 115.4% | 97.1% | 115.0% | 102.8% | 112.4% | 109.2% |
| 11 | 104.8% | 105.3% | 109.6% | 112.2% | 114.8% | 102.3% | 107.8% | 108.0% | 95.1% | 105.6% | 98.0% | 85.0% | 104.0% |
| 12 | 40.9% | 82.4% | 83.2% | 77.1% | 106.9% | 126.1% | 97.9% | 97.7% | 74.4% | 110.4% | 120.9% | 141.5% | 97.0% |
| 13 | 98.0% | 98.9% | 94.5% | 90.5% | 88.4% | 143.0% | 121.9% | 101.2% | 102.6% | 131.5% | 125.7% | 118.4% | 109.2% |
| 14 | 146.1% | 119.4% | 164.4% | 120.4% | 166.9% | 141.3% | 154.5% | 122.2% | 129.4% | 109.3% | 136.6% | 113.4% | 133.3% |
| 15 | 65.2% | 92.3% | 97.3% | 73.2% | 73.7% | 80.2% | 96.9% | 104.6% | 111.9% | 71.9% | 93.4% | 120.4% | 89.6% |
| 16 | 52.4% | 135.8% | 164.4% | 142.4% | 117.0% | 59.4% | 81.9% | 153.4% | 92.3% | 91.8% | 79.4% | 80.0% | 100.7% |
| 17 | 113.3% | 102.7% | 94.7% | 80.9% | 96.2% | 72.1% | 84.6% | 78.6% | 95.3% | 89.0% | 92.0% | 82.8% | 89.4% |
| 18 | 151.1% | 140.8% | 121.0% | 117.4% | 104.6% | 136.7% | 125.9% | 69.2% | 74.8% | 86.1% | 56.2% | 57.5% | 97.9% |
| 19 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | 1400.0% | 700.0% | 266.7% | 225.0% | 140.0% | 126.7% | 160.0% | 129.0% | 88.8% | 237.1% |
| 20 | 173.1% | 105.6% | 95.9% | 115.7% | 146.8% | 77.3% | 121.9% | 75.4% | 78.5% | 84.4% | 96.8% | 117.0% | 103.2% |
| 21 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | 382.0% | 277.4% | 292.1% | 239.9% | 101.8% | 157.8% | 317.7% |
| 22 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | 104.4% | 93.5% | 103.0% | 94.4% | 351.5% |
| 合計 H19/H18 | 105.6% | 103.9% | 108.1% | 109.8% | 108.7% | 104.7% | 106.6% | 102.9% | 94.3% | 102.5% | 98.2% | 97.6% | 103.4% |

東海協会

| 月別出荷 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| H18燃料計 | 32171 | 32545 | 33389 | 32548 | 34180 | 33434 | 32944 | 33944 | 33741 | 30754 | 30884 | 32247 |
| H19燃料計 | 35001 | 35197 | 35519 | 36591 | 33282 | 35283 | 34926 | 32045 | 32580 | 32000 | | |
| 前年比較率 H19/H18 | 108.8% | 108.1% | 106.4% | 112.4% | 97.4% | 105.5% | 106.0% | 94.4% | 96.6% | 104.1% | 0.0% | |
| H18製品計 | 16650 | 18389 | 17817 | 16978 | 18065 | 17199 | 16612 | 15607 | 14994 | 13557 | 14207 | 14684 |
| H19製品計 | 18084 | 16043 | 16881 | 16589 | 14615 | 14489 | 15251 | 13761 | 13432 | 12485 | | |
| 前年比較率 H19/H18 | 108.6% | 87.2% | 94.7% | 97.7% | 80.9% | 84.2% | 91.8% | 88.2% | 89.6% | 92.1% | 0.0% | 0.0% |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 製品・燃料 H18合計 | 48821 | 50934 | 51206 | 49526 | 52245 | 50633 | 49556 | 49551 | 48735 | 44311 | 45091 | 46931 |
| 製品・燃料 H19合計 | 53085 | 51240 | 52400 | 53180 | 47897 | 49772 | 50177 | 45806 | 46012 | 44485 | 0 | 0 |
| 前年比較率 H19/H18 | 108.7% | 100.6% | 102.3% | 107.4% | 91.7% | 98.3% | 101.3% | 92.4% | 94.4% | 100.4% | 0.0% | 0.0% |

中四国木材資源リサイクル協会廃木材受入量

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 18年度 | 4574.31 | 5106.08 | 5553.30 | 4430.70 | 3488.90 | 1925.27 | 2387.75 | 2400.19 | 1668.97 | 1500.04 | 1936.30 | 2352.42 | 37324.23 |
| 19年度 | 6095.97 | 6187.02 | 5928.55 | 6589.47 | 5935.59 | 6441.00 | 6494.00 | 7070.00 | 7149.00 | 4902.00 | | | |

| 会社名 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1 | #DIV/0! | 70.7% | 70.4% | 84.0% | 61.7% | 136.7% | 126.1% | 105.5% | 96.5% | 74.4% | | | |
| 2 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 3 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 4 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 5 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 岡山県合計 | #DIV/0! | 70.7% | 70.4% | 84.0% | 61.7% | 136.7% | 126.1% | 105.5% | 96.5% | 74.4% | | | |
| 6 | 97.6% | 196.1% | 205.1% | 109.9% | 121.6% | 38.6% | 27.2% | 55.2% | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 7 | 127.8% | 58.4% | 57.1% | 140.6% | 128.1% | 133.5% | 159.4% | 160.1% | 182.2% | 155.5% | | | |
| 島根県合計 | 116.4% | 90.8% | 91.3% | 131.2% | 126.1% | 98.9% | 105.2% | 119.6% | 182.2% | 155.5% | | | |
| 8 | 137.6% | 155.0% | 92.5% | 162.1% | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 9 | 36.6% | 558.9% | 75.9% | 106.7% | 34.2% | #DIV/0! | 161.0% | 116.1% | 786.0% | 31.2% | | | |
| 10 | 64.6% | 131.3% | 78.7% | 81.8% | 73.9% | 105.5% | 55.1% | 44.2% | 60.1% | 88.8% | | | |
| 鳥取県合計 | 81.7% | 181.2% | 83.1% | 122.3% | 56.4% | 105.5% | 77.4% | 60.9% | 144.4% | 59.1% | | | |
| 11 | 165.1% | 125.0% | 142.9% | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 12 | 95.9% | 77.6% | 81.6% | 89.7% | 141.4% | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 13 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 14 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 広島県合計 | 136.5% | 104.4% | 115.4% | 89.7% | 141.4% | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 15 | 130.8% | 133.9% | 131.3% | 109.1% | 128.4% | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 山口県合計 | 130.8% | 133.9% | 131.3% | 109.1% | 128.4% | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | | | |
| 18年度比較対象 | 4574.31 | 5106.08 | 5553.30 | 4430.70 | 3488.90 | 1925.27 | 2387.75 | 2400.19 | 1668.97 | 1500.04 | 1936.30 | 2352.42 | 37324.23 |
| 19年度比較対象 | 5342.26 | 5917.34 | 5539.21 | 4866.18 | 3709.47 | 2046.00 | 2371.00 | 2291.00 | 2486.00 | 1433.00 | | | |
| 18年/19年 合計 | 116.8% | 115.9% | 99.7% | 109.8% | 106.3% | 106.3% | 99.3% | 95.5% | 149.0% | 95.5% | | | |

木材チップ燃料需要実態

2007年12月末現在

| | 地区/時期 | ～04年 | 05年 | 06年 | 07年～ | 備考 | |
|----------------|---------------|-----------|---------------------------|---------|---------|--------------|----------------|
| 【北海道】 | 王子製紙 苫小牧工場 | 北海道 | 37000 | | | | |
| | 日本製紙 旭川工場 | " | | | 190000 | 08年10月予定 | |
| | 日本製紙 白老工場 | " | | | 74000 | 08年8月予定 | |
| | 合計 | | 37000 | 0 | 0 | 264000 | |
| | 累計 | | 37000 | 37000 | 37000 | 301000 | |
| 【東北】 | 三菱製紙 八戸工場 | 青森 | 10000 | | | | |
| | 八戸セメント | " | 6000 | | 12000 | ストックヤード拡張による | |
| | 三菱製紙 北上工場 | 岩手 | バイオマスボイラー(年間120000t程度)を計画 | | | | |
| | 太平洋セメント 大船渡工場 | " | (1500) | | | セメント助燃材として | |
| | 新日本製鐵 釜石工場 | " | バイオガス発電(主に間伐材などを利用)を計画 | | | | |
| | 日本大昭和板紙東北 | 秋田 | | (1200) | ⇒ | 33000 | 08年8月予定、新炉に一本化 |
| | 能代森林資源利用協同組合 | " | 54000 | | | | |
| | 秋田プライウッド 向浜工場 | " | 75000 | | | | バイオマス発電利用分 |
| | 日本製紙 石巻工場 | 宮城 | | | 150000 | | |
| | セイホク | " | | 60000 | | | |
| | やまがたグリーンパワー | 山形 | | | | 20000 | |
| | 日本製紙 勿来工場 | 福島 | 90000 | | | | |
| | いわき大王製紙 | " | 60000 | | | 180000 | 2008年9月に2基目予定 |
| | 白河ウッドパワー | " | | | 100000 | | |
| | カイハツボード | " | | | | 18000 | 08年8月予定 |
| | 合計 | | 295000 | 60000 | 250000 | 263000 | |
| | 累計 | | 295000 | 355000 | 605000 | 868000 | |
| | 【関東】 | 大日本インキ | 茨城 | 30000 | | | |
| | | 北越製紙 関東工場 | " | | | 194000 | |
| | | バイオパワー勝田 | " | | 55000 | | |
| 高萩大建工業 | | " | | | | 42000 | |
| 日本ノボパン工業 つくば工場 | | " | | 24000 | | | |
| 日揮 | | " | | | | 180000 | 2010年予定 |
| 神之池バイオエネルギー | | " | | | | (150000) | 08年4月予定、自社製造端材 |
| 高砂製紙 | | " | | | | 100000 | 08年5月予定 |
| 住友大阪セメント 栃木工場 | | 栃木 | | | | 100000 | 09年4月予定 |
| 王子板紙 日光工場 | | " | | | | 36000 | 08年11月予定 |
| 吾妻電力 | | 群馬 | | | | 140000 | 2010年7月予定 |
| 太平洋セメント 埼玉工場 | | 埼玉 | 100000 | | | | |
| 吉野石膏 草加工場 | | " | 60000 | | | | |
| 吉野石膏 千葉工場 | | 千葉 | 60000 | | | | |
| チヨダウーテ 千葉工場 | | " | 60000 | | | | |
| 市原グリーン電力 | | " | | | 200000 | | |
| 前田道路 東京総合合材工場 | | 東京 | | | | 50000 | |
| 合計 | | | 310000 | 79000 | 394000 | 648000 | |
| 累計 | | | 310000 | 389000 | 783000 | 1431000 | |
| 【北陸】 | | サミット明星パワー | 新潟 | | 128000 | | |
| | 電化セメント | " | | 30000 | | | |
| | 北越製紙 新潟工場 | " | | | 75000 | | |
| | 中越パルプ工業 高岡工場 | 富山 | | | 3600 | | |
| | 石原谷発電 | " | | | | 16274 | |
| | いしかわグリーンパワー | 石川 | | | | 23000 | 08年3月予定 |
| | 合計 | | 0 | 158000 | 78600 | 39274 | |
| 累計 | | 0 | 158000 | 236600 | 275874 | | |
| 【中部】 | 日本製紙 富士工場 | 静岡 | | | | 194000 | |
| | 日本大昭和板紙吉永 | " | | | | 63000 | 08年4月予定 |
| | 東海パルプ | " | 48000 | | 72000 | | |
| | 大興製紙 | " | 24000 | | | | |
| | 東海染工 浜松工場 | " | | | 24000 | | |
| | 王子特殊紙 芝川事業所 | " | | | 14000 | | |
| | 王子製紙 春日井工場 | 愛知 | | | | 120000 | |
| | ニチハ | " | | 24000 | | | |
| | ニチハマテックス | " | 24000 | | | | |
| | 東海染工 名古屋事業所 | " | 24000 | | | | |
| | 吉野石膏 三河工場 | " | 36000 | | | | |
| | チヨダウーテ 四日市工場 | 三重 | 48000 | | | 24000 | |
| | 三重中央開発 | " | | (35000) | | | 主に自社で調達 |
| | 太平洋セメント 藤原工場 | " | (15000) | | | | セメント助燃材として |
| | 紀州製紙 紀州工場 | " | | | | 30000 | 08年5月予定 |
| | 大王製紙 可児工場 | 岐阜 | 150000 | | | | |
| | 住友大阪セメント 大垣工場 | " | | (42000) | | | |
| | 岐セン 本社・工場 | " | 18000 | | | | |
| | 東海染工 岐阜事業所 | " | | | | 24000 | |
| | 川辺バイオマス発電 | " | | | | 60000 | 08年5月予定 |
| 合計 | | 372000 | 24000 | 110000 | 515000 | | |
| 累計 | | 372000 | 396000 | 506000 | 1021000 | | |

| | | | | | | | |
|------|------------------|----|---------|---------|---------|---------|------------|
| 【近畿】 | 林ベニヤ工業 | 大阪 | 12000 | | | | |
| | 日本ノボパン工業 堺工場 | 〃 | | | | 72000 | |
| | バイオエタノール・ジャパン・関西 | 〃 | | | | 50000 | |
| | チヨダウーテ 貝塚工場 | 〃 | 36000 | | | | |
| | リバース | 〃 | 12000 | | | | |
| | 兵庫パルプ工業 | 兵庫 | 132000 | | | | |
| | コーナンユーティリティ | 〃 | 36000 | | | | |
| | 住友大阪セメント 赤穂工場 | 〃 | (24000) | | (24000) | | セメント助燃材として |
| | 環境エネルギー タクマ事業所 | 〃 | 6000 | | | | |
| | 合計 | | 234000 | 0 | 0 | 122000 | |
| | 累計 | | 234000 | 234000 | 234000 | 356000 | |
| 【中国】 | クラレ玉島 | 岡山 | | 15600 | | | |
| | 日本リサイクルマネジメント | 〃 | | 19500 | | | |
| | 岡山大建工業 | 〃 | | | | 30000 | |
| | 王子製紙 米子工場 | 島根 | | 36000 | | | |
| | 市ノ宮テクノプラント 二原表処理 | 広島 | | | | 50000 | |
| | 宇部興産 伊佐工場 | 山口 | (40000) | | | | セメント助燃材として |
| | ユービーイーパワーセンター | 〃 | | 90000 | | | |
| | トクヤマ | 〃 | | | | 12000 | |
| | 日本製紙 岩国工場 | 〃 | | | | 260000 | 08年2月予定 |
| | 岩国ウッドパワー | 〃 | | | | 90000 | |
| | 下関三井化学 | 〃 | | | | 48000 | |
| | 中国電力 | 〃 | | | | 20000 | |
| | 合計 | | 0 | 161100 | 188000 | 310000 | |
| | 累計 | | 0 | 161100 | 349100 | 659100 | |
| 【四国】 | 東洋テックス | 香川 | 30000 | | | | |
| | 王子製紙 富岡工場 | 徳島 | | | | 180000 | 08年11月予定 |
| | 住友大阪セメント 須崎工場 | 高知 | | 39000 | | 61000 | 破砕機を設置 |
| | 大王製紙 三島工場 | 愛媛 | 96000 | | | | |
| | 四国電力 | 〃 | | (11000) | | | 製材端材のみを利用 |
| | 住友共同電力 | 〃 | | 4000 | | | 06年度実績 |
| | 合計 | | 126000 | 43000 | 0 | 241000 | |
| | 累計 | | 126000 | 169000 | 169000 | 410000 | |
| 【九州】 | 箱崎ユーリティー | 福岡 | 38400 | | | | |
| | 王子製紙 大分工場 | 大分 | 12000 | | | | |
| | 太平洋セメント 津久見工場 | 〃 | (15000) | | | | セメント助燃材として |
| | 日田ウッドパワー | 〃 | | | | 110000 | |
| | 王子製紙 日南工場 | 宮崎 | | | | 39600 | |
| | ウッドエネルギー協同組合 | 〃 | 21000 | | | | |
| | 合計 | | 71400 | 0 | 149600 | 0 | |
| | 累計 | | 71400 | 71400 | 221000 | 22100 | |
| | | 年計 | 1445400 | 525100 | 1170200 | 2402274 | |
| | | 累計 | 1445400 | 1970500 | 3140700 | 5542974 | |

資料提供：(株)日報アイ・ビー

能力の単位：t/年

※注1 表のデータは取材、聞き取り調査をもとに本紙が独自にまとめたもの。

※注2 建設廃材を中心に木質チップ（一部、製材工程の端材含む）をサーマル利用している施設を掲載した。

※注3 () 内の数字は調査段階で廃材の利用状況が明らかになったため、参考として掲載した。（試算には含まず）

＜木質資源(廃木材)の種類とリサイクルの現況＞

単位:万トン/年(推定)

| 廃木材の種類 | 排出量* | 再資源化量* | リサイクル内訳* | 参考 |
|--------------|-------|-------------|---------------|---|
| 産業廃棄物 | 1,000 | 800 | | |
| 1.建設発生木材 | 500 | 350 | | ・()は国土交通省の平成17年度建設副産物実態調査結果 「発生量比」 土木工事4:建設工事3:解体工事3 ・合板・製材工場、プレカット工場、木製品製造工場等の残材 ・木質ボード消費量m ³ ・千人:日本81:アメリカ187:ドイツ136(03) |
| | {471} | (321:68.2%) | | |
| 2.製材工場残材等 | 500 | 450 | 木質ボード 250万トン | |
| 計 | 1,000 | 800 | | |
| 一般廃棄物 | | | 紙・パルプ 290万トン | (パーティクルボード:日本12:アメリカ94:ドイツ103) |
| 1.廃パレット・剪定枝等 | 300 | 150 | 敷料・肥料等 110万トン | ・木質燃料利用(70社・万トン年):148(04)、233(05)、354(06)、546(07~) |
| | | | サーマル燃料 350万トン | ・RPS法小委員会:バイオマス発電を現状の倍の50億KW計画(07.2.6) |
| その他 | | | 計 1,000万トン | (電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法) |
| 1.林地残材等 | 400 | 50 | | ・07~12の6年間の間伐目標:330万ha(07.2.23関係閣僚会議で決定) |
| 計 | 1,700 | 1,000 | | 1,000/1,700 : 58.8% |

* 排出量・再資源化量・リサイクル内訳は2006.3日本繊維板工業会作成資料を参照

＜最近の新たな動き→バイオエタノール＞

2007. 1. 16 大阪に廃木材で製造するバイオエタノール工場竣工(バイオエタノールジャパン関西(株):年4. 8万トン廃木材から1, 400klを生産計画)

2007. 2. 22 バイオマス日本総合戦略会議で2030年バイオエタノール等エコ燃料導入目標を600万klと決定

需要活発化で供給が混迷

木材の供給が混迷している。需要の活発化により、供給が追いつかなくなっている。木材の供給が混迷している。需要の活発化により、供給が追いつかなくなっている。木材の供給が混迷している。需要の活発化により、供給が追いつかなくなっている。

木材リサイクルを討議

東北木材資源リシンホ 循環資源の可能性探る

「木材リサイクルの活用は、資源の有効利用と環境保護の観点から、重要な課題となっている。東北木材資源リシンホでは、木材リサイクルの活用を促進するための取り組みを行っている。木材リサイクルの活用は、資源の有効利用と環境保護の観点から、重要な課題となっている。東北木材資源リシンホでは、木材リサイクルの活用を促進するための取り組みを行っている。

循環資源の現状と展望

循環資源の現状と展望。木材リサイクルの活用は、資源の有効利用と環境保護の観点から、重要な課題となっている。東北木材資源リシンホでは、木材リサイクルの活用を促進するための取り組みを行っている。

多様化・流動化する需要

多様化・流動化する需要。木材の需要が多様化・流動化している。木材の需要が多様化・流動化している。木材の需要が多様化・流動化している。木材の需要が多様化・流動化している。

表1 木材チップ等の生産量および販売価格

| 品目 | 生産量(千立方メートル) | 販売価格(千円) |
|-------------|--------------|----------|
| ① マテリアル用チップ | 34 | 1,4 |
| ② サーマル用チップ | 56 | 1 |
| ③ 木質チップ | 250 | 2 |
| ④ 住宅敷設用チップ | 19 | 5.7 |
| ⑤ 森林チップ | 32 | 3 |

表2 木材チップ生産者の製品チップ販売価格

| 品目 | 1次 | 2次 | 3次 | 4次 | 5次 | 6次 | 7次 | 8次 | 9次 | 10次 | 11次 | 12次 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| マテリアル | 8 | 5 | 12 | 2 | 1 | | | | | | | |
| サーマル | 2 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | | | | | |
| 木質チップ | 91 | 12 | 1 | | | | | | | | | |
| 住宅敷設用 | 10 | 2 | | | | | | | | | | |

品質と価格に要望

品質と価格に要望。木材の品質と価格に要望がある。木材の品質と価格に要望がある。木材の品質と価格に要望がある。木材の品質と価格に要望がある。

木材の品質と価格に要望がある。木材の品質と価格に要望がある。木材の品質と価格に要望がある。木材の品質と価格に要望がある。

表3 木材チップ生産者の製品チップ販売価格

| 品目 | 1次 | 2次 | 3次 | 4次 | 5次 | 6次 | 7次 | 8次 | 9次 | 10次 | 11次 | 12次 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| マテリアル | 8 | 5 | 12 | 2 | 1 | | | | | | | |
| サーマル | 2 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | | | | | |
| 木質チップ | 91 | 12 | 1 | | | | | | | | | |
| 住宅敷設用 | 10 | 2 | | | | | | | | | | |

未処理部分、完全利用へ

未処理部分、完全利用へ。木材の未処理部分を完全に利用する。木材の未処理部分を完全に利用する。木材の未処理部分を完全に利用する。木材の未処理部分を完全に利用する。

木材の未処理部分を完全に利用する。木材の未処理部分を完全に利用する。木材の未処理部分を完全に利用する。木材の未処理部分を完全に利用する。

表4 木材チップ生産者の製品チップ販売価格

| 品目 | 1次 | 2次 | 3次 | 4次 | 5次 | 6次 | 7次 | 8次 | 9次 | 10次 | 11次 | 12次 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| マテリアル | 8 | 5 | 12 | 2 | 1 | | | | | | | |
| サーマル | 2 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | | | | | |
| 木質チップ | 91 | 12 | 1 | | | | | | | | | |
| 住宅敷設用 | 10 | 2 | | | | | | | | | | |

製品認定に全国基準を

製品認定に全国基準を。木材製品の認定に全国基準を定める。木材製品の認定に全国基準を定める。木材製品の認定に全国基準を定める。木材製品の認定に全国基準を定める。

木材製品の認定に全国基準を定める。木材製品の認定に全国基準を定める。木材製品の認定に全国基準を定める。木材製品の認定に全国基準を定める。

表5 木材チップ生産者の製品チップ販売価格

| 品目 | 1次 | 2次 | 3次 | 4次 | 5次 | 6次 | 7次 | 8次 | 9次 | 10次 | 11次 | 12次 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| マテリアル | 8 | 5 | 12 | 2 | 1 | | | | | | | |
| サーマル | 2 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | | | | | |
| 木質チップ | 91 | 12 | 1 | | | | | | | | | |
| 住宅敷設用 | 10 | 2 | | | | | | | | | | |

廃木材が宝物に

廃木材が宝物に。廃木材を宝物として活用する。廃木材を宝物として活用する。廃木材を宝物として活用する。廃木材を宝物として活用する。

廃木材を宝物として活用する。廃木材を宝物として活用する。廃木材を宝物として活用する。廃木材を宝物として活用する。

廃木材を宝物として活用する。廃木材を宝物として活用する。廃木材を宝物として活用する。廃木材を宝物として活用する。

林業活性化 温暖化防止も担う

林業活性化 温暖化防止も担う。林業の活性化と温暖化防止の役割。林業の活性化と温暖化防止の役割。林業の活性化と温暖化防止の役割。林業の活性化と温暖化防止の役割。

林業の活性化と温暖化防止の役割。林業の活性化と温暖化防止の役割。林業の活性化と温暖化防止の役割。林業の活性化と温暖化防止の役割。

林業の活性化と温暖化防止の役割。林業の活性化と温暖化防止の役割。林業の活性化と温暖化防止の役割。林業の活性化と温暖化防止の役割。

第2部 第5回時局講演会

第1講演

15:00～15:55

「リサイクル産業の今後の展望について」

経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課

課長 安藤 晴彦 氏

第2講演

16:00～16:55

「リサイクル産業における林地残材活用の可能性について」

独立行政法人 森林総合研究所

林業工学研究領域

チーム長 陣川 雅樹 氏

== メ モ ==